

第17編 土木その他構築物

1. 土木その他構築物情報の構成.....	17-1
1-1 構成	17-1
1-2 作成概要	17-2
2. 土木その他構築物情報の作成方法.....	17-5
2-1 作成単位	17-5
2-2 作成タイミング	17-5
2-3 作成者	17-5
2-4 作成内容	17-6
2-5 【削除】基本資料情報.....	17-7
2-6 工事情報	17-8
2-6-1 立入防止柵	17-8
2-6-2 本線緊急開口部	17-12
2-6-3 のり面点検施設	17-15
2-6-4 トンネル洗浄水貯留槽.....	17-21
2-6-5 橋脚防護ブロック.....	17-24
2-6-6 投排雪禁止表示板.....	17-27
2-6-7 衝突緩衝装置	17-30
2-6-8 スノーポール（単独）	17-33
2-6-9 矢印板	17-36
2-6-10 矢羽根板	17-40
2-6-11 自発光デリニエータ.....	17-44
2-6-12 飛砂防止柵	17-48
2-6-13 越波防止柵	17-52
2-6-14 凍結防止剤飛散防止ネット(柵).....	17-56
2-6-15 防霧ネット	17-60
2-6-16 飛雪防止柵	17-64
2-6-17 雪氷作業案内板（電光式）	17-68
2-6-18 渋滞等注意喚起板（電光式）	17-72
2-6-19 回転灯（赤）	17-76
2-6-20 吹流し	17-79
2-6-21 路側線指標	17-82
2-6-22 雪崩予防柵	17-86

2-6-23	吹き溜め柵	17-90
2-6-24	吹き払い柵	17-94
2-6-25	雪崩誘導柵	17-98
2-6-26	雪崩防護柵	17-102
2-6-27	せり出し防止柵	17-106
2-6-28	防雪柵・防風柵・地吹雪防止柵	17-110
2-6-29	吊柵	17-114
2-6-30	防球ネット（覆式）	17-118
2-6-31	防球ネット（フェンス式）	17-122
2-6-32	目隠し板	17-126
2-6-33	雪氷Uターン路開口部扉	17-129
2-6-34	突堤、栈橋	17-132
2-6-35	砂防堰堤	17-135
2-6-36	ロックシェッド・スノーシェッド	17-138
2-6-37	スノーシェルター	17-142
2-6-38	雪崩誘導溝	17-146
2-6-39	雪崩誘導堤・雪崩防護擁壁	17-149
2-6-40	吊柱	17-153
2-6-41	雪崩割り施設	17-157
2-6-42	護岸工	17-161
2-6-43	消波ブロック	17-164
2-6-44	調整池・用水池	17-167
2-6-45	ブイ（灯標）	17-170
2-6-46	横断歩道橋	17-173
2-6-47	距離標	17-176
2-6-48	その他排水施設	17-180
2-6-49	その他道路資産	17-184

1. 土木その他構築物情報の構成

1-1 構成

土木その他構築物に該当する情報は、工事の内容を取りまとめた完了・しゅん功書類の 1 つであると共に、管理・資産状況を把握する上での基礎データとなるものである。

土木その他構築物情報の構成は、工事内容を具体的な情報として作成する「工事情報」から成る。

なお、工事記録収集システムへのデータ入力の際に参照した 平面図、詳細図等は、必要に応じて監督員に提出すること。



1-2 作成概要

土木その他構築物情報の作成にあたり、各工種情報がある。工種情報の作成の際には、各工種の作成単位を踏まえデータを作成すること。

データ作成区分表

情報項目	作成単位	作成内容	作成タイミング		作成者	
			建設時	補修時	会社	工事受注者
立入防止柵	同一種別が連続する区間毎	設置位置、種別、延長を示す。	○	○	—	○
本線緊急開口部	緊急開口部毎	設置位置、取付道路名を示す。	○	○	—	○
のり面点検施設	各のり面の段毎	設置位置、種別、延長を示す。	○	○	—	○
トンネル洗浄水貯留槽	貯水槽毎	設置位置、貯留量を示す。	○	○	—	○
橋脚防護ブロック	橋脚 1 基毎	設置箇所等を示す。	○	○	—	○
投排雪禁止表示板	1 基毎	設置位置を示す。	○	○	—	○
衝突緩衝装置	設置箇所毎	設置位置を示す。	○	○	—	○
スノーボール (単独)	同一種別が連続する区間毎	設置位置を示す。	○	○	—	○
矢印板	設置箇所毎	設置位置、枚数を示す。	○	○	—	○
矢羽根板	設置箇所毎	設置位置、枚数を示す。	○	○	—	○
自発光デリニエータ	設置箇所毎	設置位置、基数を示す。	○	○	—	○
飛砂防止柵	同一分類が連続する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
越波防止柵	同一分類が連続する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
凍結防止剤飛散防止ネット (柵)	同一分類が連続する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
防霧ネット	同一分類が連続する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
飛雪防止柵	同一分類が連続する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○

情報項目	作成単位	作成内容	作成タイミング		作成者	
			建設時	補修時	会社	工事受注者
雪氷作業案内板 (電光式)	設置箇所毎	設置位置等を示す。	○	○	—	○
渋滞等注意喚起板 (電光式)	設置箇所毎	設置位置等を示す。	○	○	—	○
回転灯(赤)	設置箇所毎	設置位置等を示す。	○	○	—	○
吹流し	設置箇所毎	設置位置等を示す。	○	○	—	○
路側線指標	同一分類が連続 する区間毎	設置位置等を示す。	○	○	—	○
雪崩予防柵	同一分類が連続 する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
吹き溜め柵	同一分類が連続 する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
吹き払い柵	同一分類が連続 する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
雪崩誘導柵	同一分類が連続 する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
雪崩防護柵	同一分類が連続 する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
せり出し防止柵	同一分類が連続 する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
防雪柵・防風柵・ 地吹雪防止柵	同一分類が連続 する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
吊柵	同一分類が連続 する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
防球ネット(覆式)	同一分類が連続 する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
防球ネット (フェンス式)	同一分類が連続 する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
目隠し板	同一分類が連続 する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
雪氷Uターン路開 口部扉	開口部扉毎	設置位置、分類を示す。	○	○	—	○

情報項目	作成単位	作成内容	作成タイミング		作成者	
			建設時	補修時	会社	工事受注者
突堤・栈橋	同一分類が連続する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
砂防堰堤	箇所毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
ロックシェッド・スノーシェッド	同一分類が連続する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
スノーシェルター	同一分類が連続する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
雪崩誘導溝	同一分類が連続する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
雪崩誘導堤・雪崩防護擁壁	同一種別毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
吊柱	同一分類が集中する区間毎	設置位置、範囲を示す。	○	○	—	○
雪崩割り施設	同一分類が集中する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
護岸工	同一種別が連続する区間毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
消波ブロック	同一分類が集中する区間毎	設置位置、範囲を示す。	○	○	—	○
調整池・用水池	機能単位毎	設置位置、範囲を示す。	○	○	—	○
ブイ（灯標）	同一分類が集中する区間毎	設置位置等を示す。	○	○	—	○
横断歩道橋	1 橋毎	設置位置、延長を示す。	○	○	—	○
距離標	1 I C 区間毎	種別や基数を示す。	○	○	—	○
その他排水施設	1 排水施設毎 (排水番号毎)	排水種別毎の位置、延長等 を示す。	○	○	—	○
その他道路資産	同一分類が連続する区間毎	構造物に関するデータを示す。	○	○	—	○

※ 記号の凡例 ○：データ作成 △：一部作成 —：作成無

2. 土木その他構築物情報の作成方法

2-1 作成単位

土木その他構築物情報の作成単位は、1IC間毎に各工種情報の作成単位を踏まえ作成すること。

2-2 作成タイミング

土木その他構築物のデータ作成するタイミングは、「建設時」、「補修時（供用後管理段階）」の2つに大別される。データの作成は、各々工事の進捗に合わせて適宜データ作成を実施し、完了・しゅん功検査までに完成させ提出すること。

2-3 作成者

建設時及び補修時（供用後管理段階）における土木その他構築物のデータ作成者は、工事受注者とする。下記に各作成者の作成内容を示す。

(1) 建設時・補修時

作成者	作成内容
監督員	業務内容とデータ内容・件数の確認をする。
工事受注者	当該土木その他構築物の工事に関するすべてのデータを作成する。

2-4 作成内容

(1) 【削除】

(2) 工事情報

工事情報として作成するデータ項目は、以下のものがある。

情報名	主な項目
立入防止柵	箇所番号、設置延長、立入防止柵種別、出入口の数
本線緊急開口部	箇所番号、出入口番号、緊急開口部扉幅、取付道路名
のり面点検施設	盛土番号、のり面番号（盛土または切土）、段、設置延長
トンネル洗浄水貯留槽	トンネル名、トンネル洗浄水貯留槽分類
橋脚防護ブロック	橋梁名、橋梁分類、個数
投排雪禁止表示板	取付タイプ
衝突緩衝装置	衝突緩衝装置分類、設置個数
スノーポール（単独）	高さ
矢印板	取付タイプ、表示板寸法、支柱材料、基礎工形式
矢羽根板	取付タイプ、表示板寸法、支柱材料、基礎工形式
自発光デリニエータ	取付タイプ、発光部寸法、支柱材料、基礎工形式
飛砂防止柵	設置高さ、延長、基礎工形式
越波防止柵	設置高さ、延長、基礎工形式
凍結防止剤飛散防止 ネット（柵）	柵種別、設置高さ、延長、基礎工形式
防霧ネット	設置高さ、延長、基礎工形式
飛雪防止柵	設置高さ、延長、取付形式
雪氷作業案内板（電光式）	分類、基礎工形式
渋滞等注意喚起板 （電光式）	分類、基礎工形式
回転灯（赤）	分類、基礎工形式
吹流し	基礎工形式
路側線指標	分類、基礎工形式
雪崩予防柵	設置高さ、延長、基礎工形式
吹き溜め柵	設置高さ、延長、基礎工形式
吹き払い柵	設置高さ、延長、基礎工形式
雪崩誘導柵	設置高さ、延長、基礎工形式
雪崩防護柵	設置高さ、延長、基礎工形式
せり出し防止柵	設置高さ、延長、基礎工形式
防雪柵・防風柵・ 地吹雪防止柵	設置高さ、延長、基礎工形式

情報名	主な項目
吊柵	設置高さ、全延長
防球ネット（覆式）	設置高さ、延長、基礎工形式
防球ネット（フェンス式）	設置高さ、延長、基礎工形式
目隠し板	設置高さ、延長、基礎工形式
雪氷 U ターン路開口部扉	分類
突堤、栈橋	種別、延長
砂防堰堤	管理番号、設置高さ、設置長さ
ロックシェッド・ スノーシェッド	トンネル名、延長、基礎工形式
スノーシェルター	トンネル名、延長、基礎工形式
雪崩誘導溝	延長
雪崩誘導堤・ 雪崩防護擁壁	設置高さ
吊枠	延長、高さ
雪崩割り施設	設置高
護岸工	箇所数
消波ブロック	橋梁名
調整池・用水池	種別
ブイ（灯標）	基数
横断歩道橋	総延長
距離標	種別
その他排水施設	排水施設番号、排水こう種別
その他道路資産	材質区分、数量、単位、呼び名、構造物の概要

ただし、工事情報の内容確認するために下表の資料について、必要に応じて監督員に提出すること。

資料名	資料の概要
平面図、詳細平面図	土木その他構築物の設置位置や状況を示すもの。
写真	土木その他構築物の完成写真等を示すもの。
その他資料	土木その他構築物を将来管理する上で必要なもの。

2-5 【削除】基本資料情報

2-6 工事情報

2-6-1 立入防止柵

立入防止柵の設置位置、種別、延長等に関するデータを入力するものである。

(1) 支社局

当該立入防止柵を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

建設時で管理する支社局名が未定の場合は、建設工事を担当する支社局名を入力する。

(2) 事務所

当該立入防止柵を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

建設時で管理事務所名が未定な場合は、工事事務所名を入力する。

(3) 道路

当該立入防止柵が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該立入防止柵が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC (至)

当該立入防止柵が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該立入防止柵が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該立入防止柵が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該立入防止柵が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該立入防止柵が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 設置場所

当該立入防止柵が設置されている場所（盛土部、切土部、高架橋下、その他）をコードより選択し入力する。

なお、平坦部は盛土部に含むものとする。また、盛土と切土に跨って立入防止柵がある場合は、設置延長が長い設置場所を選択する。

(11) 設置位置

当該立入防止柵が本線の進行方向に対して設置位置（路肩側、中分側、その他）をコードから選択し入力する。

(12) 連絡施設

当該立入防止柵が IC・JCT のノーズ端からノーズ端に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(13) 休憩等施設

当該立入防止柵が SA・PA・BS・CB のノーズ端からノーズ端に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(14) 橋梁

当該立入防止柵が高架橋下に存在する場合、高架橋の名称をコードから選択して入力する。

(15) 箇所番号

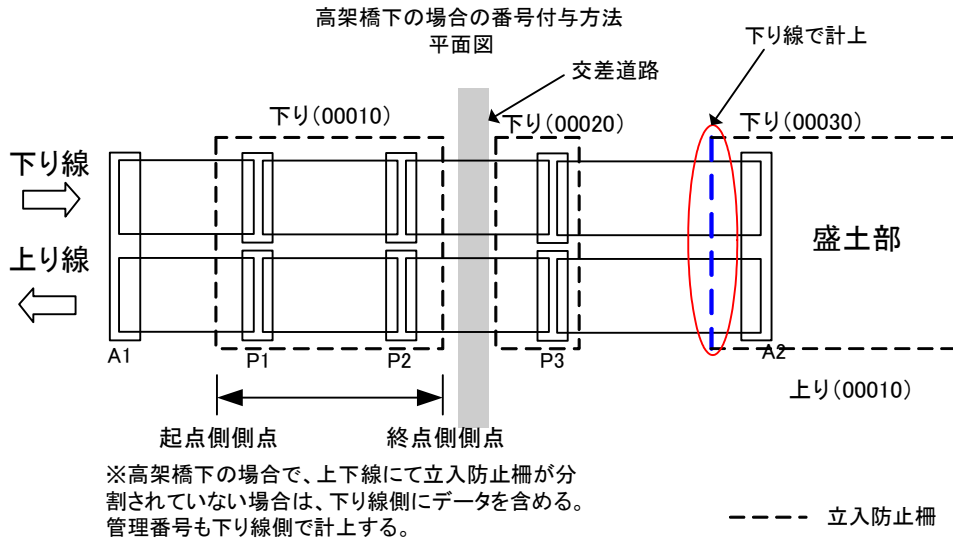
1IC 区間で上下線別、ルート、設置位置別で同一種別が連続している区間にユニーク（重複しない）となる番号を付与するものとし、出入口では箇所番号の分割は行わないものとする。

付与番号は、5桁の一連となる番号とし、初期値は「00010」とする。下1桁目は、補修工事等でデータを分割する際に活用する。

盛土の場合には、カルバートからカルバート間またはカルバートから橋梁間等に施工された立入防止柵を1つの番号として整理する。なお、その間においても立入防止柵種別が異なる場合は、箇所番号を別々に付与する。

高架下の場合には、下図を参考として番号を付与すること。

また、当該番号の付与に関しては、監督員またはDM（保全情報管理員）に確認を行うこと。



(16) STA・KP・NO の測点作成方法

立入防止柵の測点は、同一種別が連続する区間毎に、位置を示すものである。測点は、同一立入防止柵の種別が連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該立入防止柵の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該立入防止柵の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該立入防止柵が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該立入防止柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該立入防止柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該立入防止柵の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該立入防止柵の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該立入防止柵が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該立入防止柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該立入防止柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(17) 立入防止柵種別

当該立入防止柵の種別をコードから選択して入力する。

(18) 延長

当該立入防止柵の設置又は補修実延長（m）を入力する。高架下の立入防止柵の場合は、該当する箇所番号内に含まれる全ての設置延長とする。

(19) 出入口数

当該立入禁止防止柵内に施工した出入口の箇所数を入力する。

(20) 立入禁止板数

当該立入禁止防止柵内に設置した立入禁止板の枚数を入力する。

(21) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(22) 補修内容

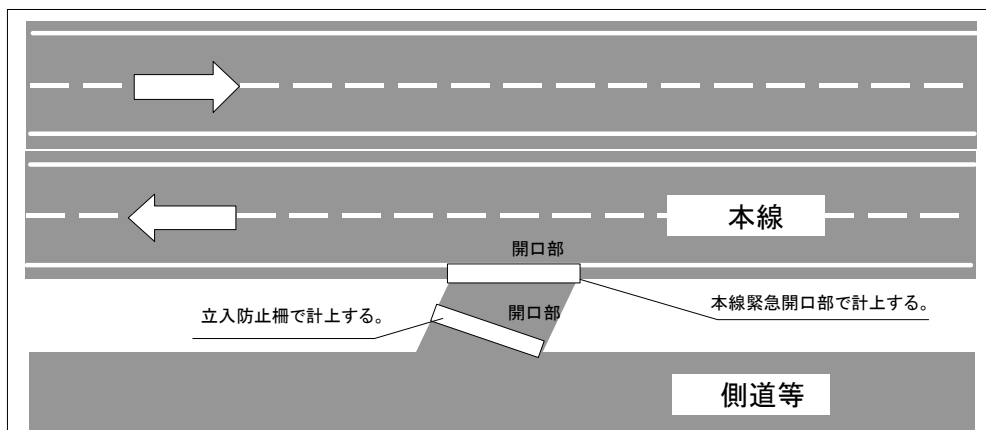
当該立入防止柵の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(23) 契約番号

当該立入防止柵を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-2 本線緊急開口部

本線緊急開口部毎に、設置位置や接続する道路を示すものである。



- (1) 支社局
当該本線緊急開口部を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該本線緊急開口部を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該本線緊急開口部が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該本線緊急開口部が、存在する IIC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該本線緊急開口部が、存在する IIC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該本線緊急開口部が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該本線緊急開口部が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該本線緊急開口部が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該本線緊急開口部が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 設置位置

当該本線緊急開口部が、進行方向の左右どちらに設置されているかをコードから選択し入力する。

(11) 連絡施設

当該本線緊急開口部が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(12) 休憩等施設

当該本線緊急開口部が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(13) 箇所番号

当該本線緊急開口部に、1IC 区間で上下線別、ルート、左右別で同一な種別が連続している区間にユニーク（重複しない）となる番号を付与する。

付与番号は、5桁の一連となる番号とし、初期値は「00010」とする。下1桁目は、補修工事等で、データを分割する際に活用する。

(14) 番号

箇所番号内の当該出入口毎にユニークとなる番号を 2 桁までで付与する初期値は「01」とする。

(15) STA・KP・NO の測点作成方法

本線緊急開口部の測点は、門扉の中心を測点とし設置位置を示すものとする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA

当該本線緊急開口部の設置位置を入力する。

(イ) 建設_ランプ名

当該本線緊急開口部が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 建設_NO

当該本線緊急開口部がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP

当該本線緊急開口部の設置位置を入力する。

(イ) 管理_ランプ名

当該本線緊急開口部が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 管理_NO

当該本線緊急開口部がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(16) 緊急開口部門扉幅

当該本線緊急開口部の幅（m）を入力する。

(17) 緊急開口部の取付道路名

当該本線緊急開口部に接続する道路名（県道〇〇線等）を 20 文字以内で入力する。

(18) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(19) 補修内容

当該本線緊急開口部の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(20) 契約番号

当該本線緊急開口部を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-3 のり面点検施設

のり面点検梯子、のり面点検階段、のり面小段手摺、のり面点検手摺の設置位置、種別、延長等に関するデータを入力するものである。

(1) 支社局

当該のり面点検施設を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該のり面点検施設を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該のり面点検施設が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該のり面点検施設が、存在する IIC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC (至)

当該のり面点検施設が、存在する IIC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該のり面点検施設が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該のり面点検施設が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該のり面点検施設が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該のり面点検施設が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該のり面点検施設が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該のり面点検施設が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

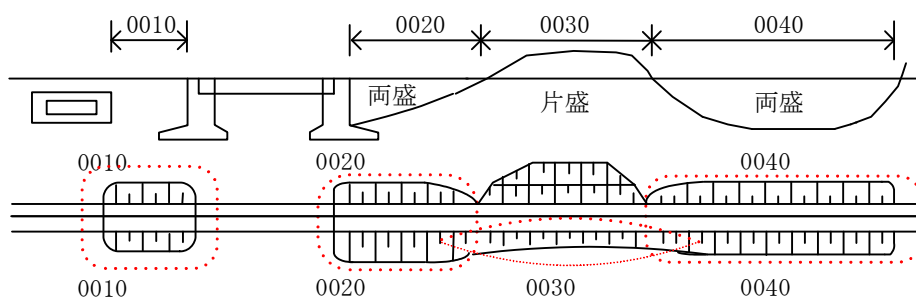
(12) 盛土番号

当該のり面点検施設を施工した箇所が盛土のり面の場合に盛土番号を入力するものである。

なお、盛土番号については、盛土施工時に付与されるので、入力の際は、DMに盛土番号や(13)のり面番号、(15)段を確認の上、データ入力を行うこと。

参考に盛土番号の付与方法を下図に示す。詳細については、「第 3 編 盛土」の 3-1. 基本定義を参照。

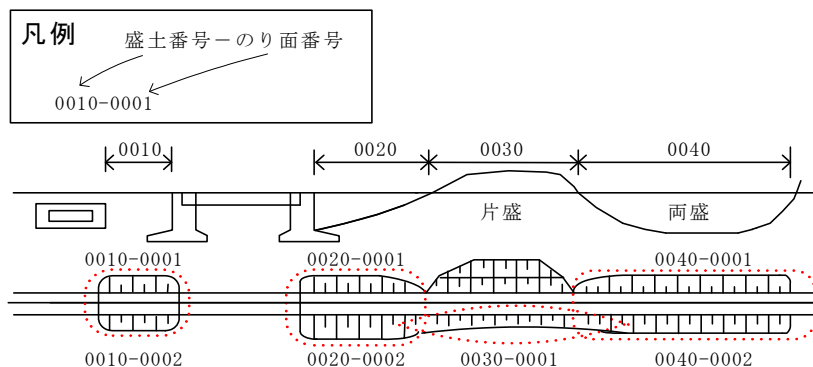
盛土番号・・・0010(数字4桁)



(13) 盛土のり面番号

当該のり面点検施設を施工した箇所が盛土のり面の場合にのり面番号を入力する。

入力の際は、DMに確認の上、データ入力を行うこと。参考として、下図にのり面番号の付与方法を示す。詳細は、「第 3 編 盛土」の 3-1. 基本定義を参照。

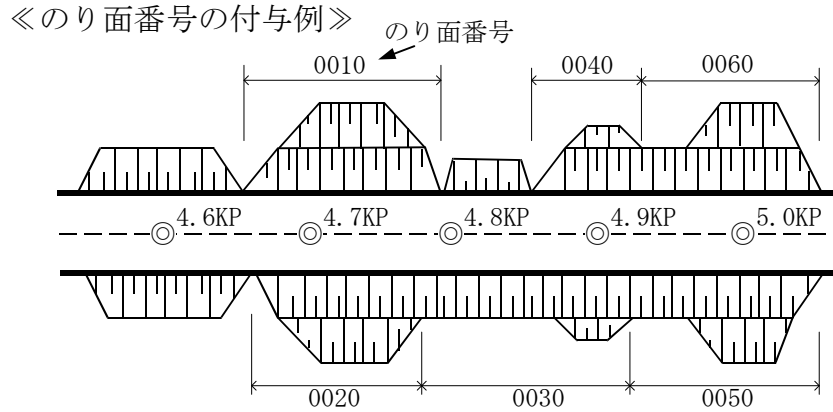


(14) 切土のり面番号

当該のり面点検施設を施工した箇所が切土のり面の場合にのり面番号を入力する。

入力の際は、DMに確認の上、データ入力を行うこと。

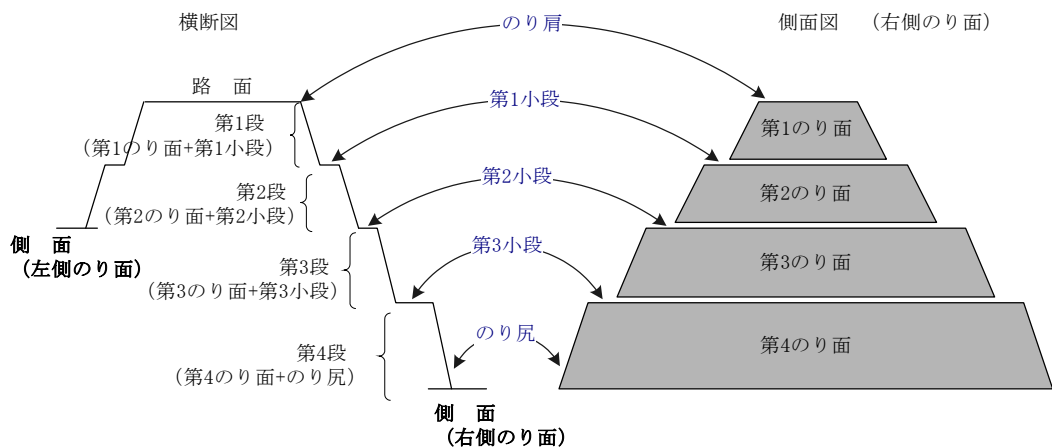
参考として、下図にのり面番号の付与方法を示す。詳細は、「第 4 編 切土のり面」の 3-1. 基本定義を参照。



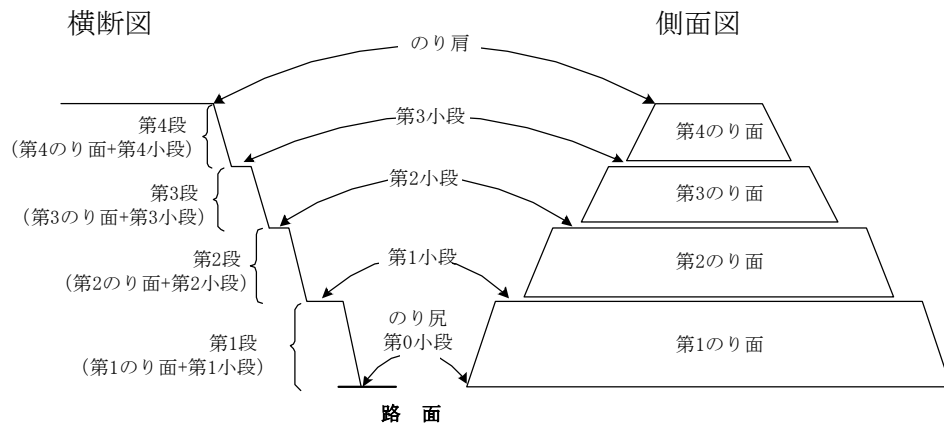
(15) 段

当該のり面点検施設が存在するのり面の段数を入力する。入力の際は、DMに確認の上、データ入力を行うこと。参考として、盛土および切土のり面の場合の段の考え方を下図に示す。

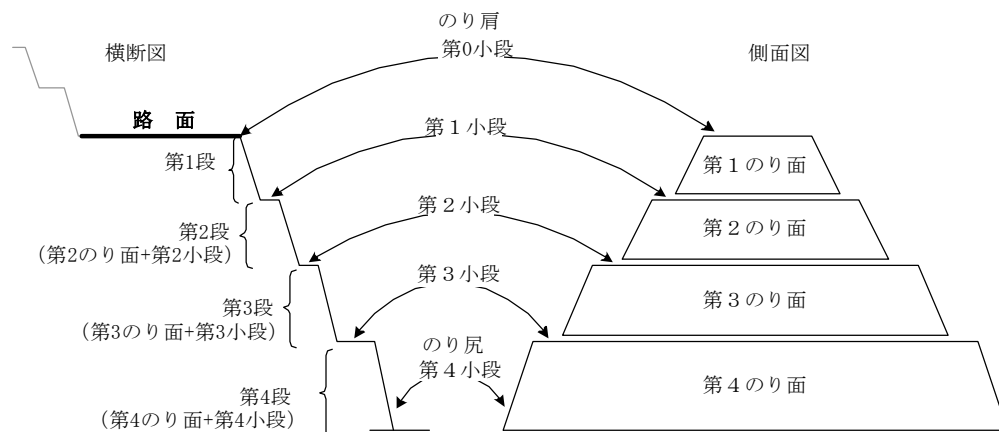
(a) 盛土のり面の場合



(b) 切土のり面の場合（路面の上方にある場合）



(c) 切土のり面の場合（路面の下方にある場合）



(16) 番号

段内において、複数の種別の点検施設が存在する場合に当該点検施設毎にユニークとなる番号を2桁までで付与する。初期値は「1」とする。

なお、段内に1つの点検施設の場合は、「1」と入力する。

(17) STA・KP・NOの測点作成方法

のり面点検施設で梯子または階段の場合は、そののり面点検施設の中心を測点とし設置位置を示すものとする。また、のり面小段手摺やのり面手摺の場合は、連続する手摺の端から端を測点とし設置位置を示すものとする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STAを用いるものとするが、KPがわかる場合は、管理_KP及び管理_NOについても作成する。

- (ア) 建設_STA (自)

当該のり面点検施設の起点側測点を入力する。KP 変換時に起点側となる方を入力。
- (イ) 建設_STA (至)

当該のり面点検施設の終点側測点を入力する。KP 変換時に終点側となる方を入力。
のり面点検施設で梯子または階段の場合は、建設_STA (自) と同 STA を入力する。
- (ウ) 建設_ランプ名

当該のり面点検施設が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。
- (エ) 建設_NO (自)

当該のり面点検施設がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。
- (オ) 建設_NO (至)

当該のり面点検施設がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。のり面点検施設で梯子または階段の場合は、建設_No (自) と同じ測点を入力する。

- (b) 補修時 (供用後管理段階)

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

 - (ア) 管理_KP (自)

当該のり面点検施設の起点側測点を入力する。
 - (イ) 管理_KP (至)

当該のり面点検施設の終点側測点を入力する。のり面点検施設で梯子または階段の場合は、建設_KP (自) と同 KP を入力する。
 - (ウ) 管理_ランプ名

当該のり面点検施設が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。
 - (エ) 管理_NO (自)

当該のり面点検施設がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。
 - (オ) 管理_NO (至)

当該のり面点検施設がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。のり面点検施設で梯子または階段の場合は、管理_No (自) と同じ測点を入力する。

- (18) のり面点検施設種別

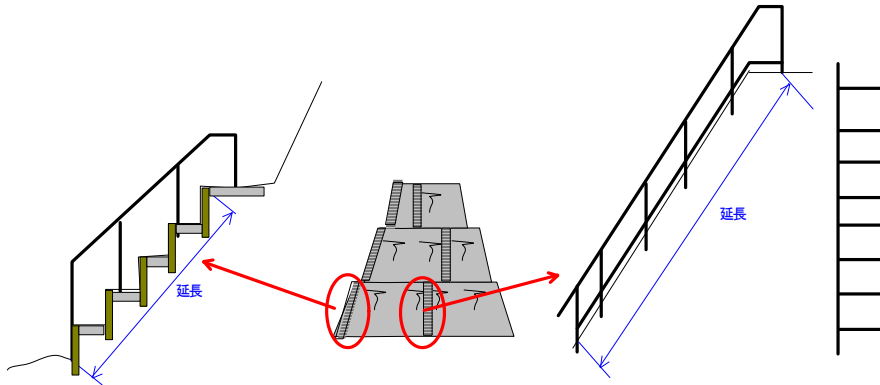
当該のり面点検施設種別 (のり面点検梯子、のり面点検階段等) をコードから選択し入力する。

- (19) 【削除】

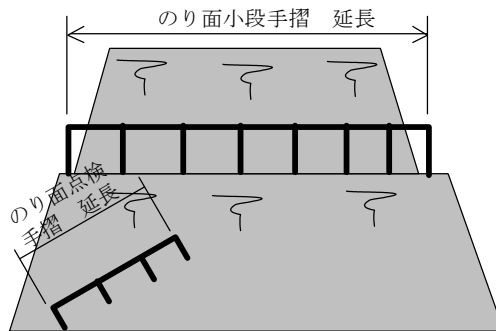
(20) 延長

当該のり面点検施設の設置又は補修実延長 (m) を入力する。下図に種別毎の延長の取り方について示す。

(a) のり面点検梯子及びのり面点検階段の場合



(b) のり面点検手摺及びのり面小段手摺の場合



(21) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(22) 補修内容

当該のり面点検施設の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(23) 契約番号

当該のり面点検施設を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-4 トンネル洗浄水貯留槽

トンネル洗浄水貯留槽の設置位置、貯留量に関するデータを入力するものである。

- (1) 支社局
当該トンネル洗浄水貯留槽を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該トンネル洗浄水貯留槽を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該トンネル洗浄水貯留槽が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該トンネル洗浄水貯留槽が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該トンネル洗浄水貯留槽が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該トンネル洗浄水貯留槽が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該トンネル洗浄水貯留槽が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該トンネル洗浄水貯留槽が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該トンネル洗浄水貯留槽が存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 連絡施設
当該トンネル洗浄水貯留槽が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該トンネル洗浄水貯留槽が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) トンネル名

当該トンネル洗浄水貯留槽が対応するトンネル名をコードから選択し入力する。

(13) 貯留槽番号

当該トンネル洗浄水貯留槽が 1 トンネルに対して複数存在する場合に、トンネル洗浄水貯留槽の管理番号を付与するものである。番号の付与順序は、起点側より 1 から連番で付与するものとする。なお、1 トンネルに対して 1 箇所の場合は、貯留槽番号は 1 となる。

(14) STA・KP・NO の測点作成方法

トンネル洗浄水貯留槽の測点は、貯留槽の中心とし設置位置を示すものとする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA

当該トンネル洗浄水貯留槽の設置位置を入力する。

(イ) 建設_ランプ名

当該トンネル洗浄水貯留槽が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 建設_NO

当該トンネル洗浄水貯留槽がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP

当該トンネル洗浄水貯留槽の設置位置を入力する。

(イ) 管理_ランプ名

当該トンネル洗浄水貯留槽が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 管理_NO

当該トンネル洗浄水貯留槽がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(15) トンネル洗浄水貯留槽分類

当該トンネル洗浄水貯留槽の貯留量（貯留量 < 5 m³、5 m³ ≤ 貯留量 < 10 m³等）をコードから選択して入力する。

(16) 【削除】

(17) 【削除】

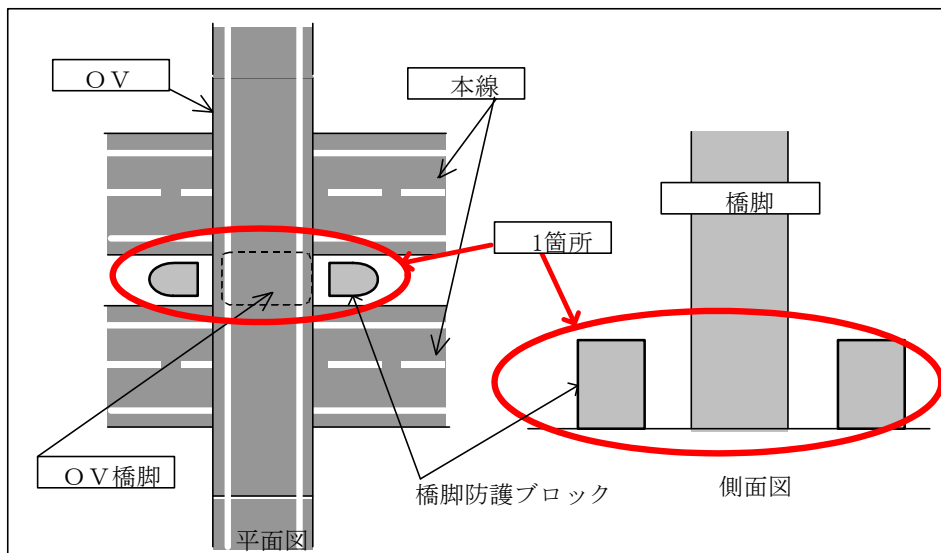
(18) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。

(19) 補修内容
当該トンネル洗浄水貯留槽の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(20) 契約番号
当該トンネル洗浄水貯留槽を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-5 橋脚防護ブロック

橋脚毎に橋脚防護ブロックの設置箇所等をデータ入力するものである。



- (1) 支社局
当該橋脚防護ブロックを管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該橋脚防護ブロックを管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該橋脚防護ブロックが、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該橋脚防護ブロックが、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該橋脚防護ブロックが、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該橋脚防護ブロックが、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該橋脚防護ブロックが、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該橋脚防護ブロックが、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該橋脚防護ブロックが、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該橋脚防護ブロックが、IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該橋脚防護ブロックが、SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 橋梁名

当該橋脚防護ブロックが、設置される橋梁名または跨道橋名をコードから選択し入力する。

(13) 橋台・橋脚番号

当該橋脚防護ブロックが、防護する橋台・橋脚番号を入力する。

(14) STA・KP・NO の測点作成方法

橋脚防護ブロックが、防護する橋脚の中心を測点とし設置位置を示すものとする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA

当該橋脚防護ブロックの設置位置を入力する。

(イ) 建設_ランプ名

当該橋脚防護ブロックが存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 建設_NO

当該橋脚防護ブロックがランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP

当該橋脚防護ブロックの設置位置を入力する。

(イ) 管理_ランプ名

当該橋脚防護ブロックが存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 管理_NO

当該橋脚防護ブロックがランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(15) 橋梁分類

当該橋脚防護ブロックが設置される橋梁（本線橋・ランプ橋・跨道橋）をコードより選択し入力する。

(16) 【削除】

(17) 内訳箇所数量

橋脚（1 箇所）毎に設置されている橋脚防護ブロックの内訳の個数を入力する。

(18) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(19) 補修内容

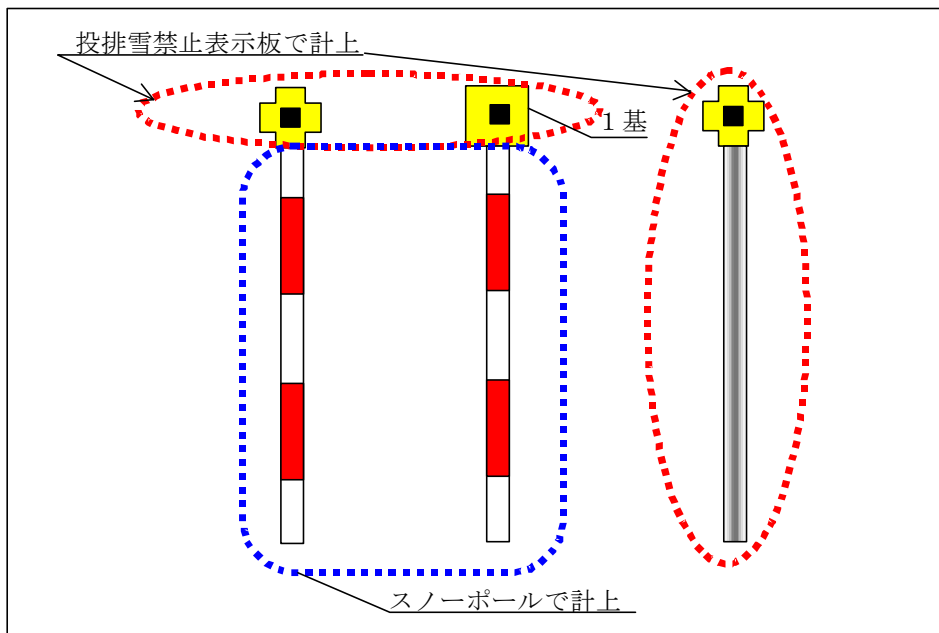
当該橋脚防護ブロックの設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(20) 契約番号

当該橋脚防護ブロックを施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-6 投排雪禁止表示板

投排雪禁止表示板の設置箇所等についてデータ入力するものである。



※投排雪禁止表示板とは、上図に示す構造となっており、道路の沿道で民家近接箇所や交差物等投排雪が禁止されている区間を除雪作業員に案内する表示板である。

- (1) 支社局
当該投排雪禁止表示板を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該投排雪禁止表示板を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該投排雪禁止表示板が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該投排雪禁止表示板が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該投排雪禁止表示板が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該投排雪禁止表示板が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該投排雪禁止表示板が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該投排雪禁止表示板が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該投排雪禁止表示板が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該投排雪禁止表示板が、IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該投排雪禁止表示板が、SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該投排雪禁止表示板のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

当該投排雪禁止表示板の設置位置を示すものである。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA

当該投排雪禁止表示板の設置位置を入力する。

(イ) 建設_ランプ名

当該投排雪禁止表示板が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 建設_NO

当該投排雪禁止表示板がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP

当該投排雪禁止表示板の設置位置を入力する。

(イ) 管理_ランプ名

当該投排雪禁止表示板が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 管理_NO

当該投排雪禁止表示板がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(14) 取付タイプ

当該投排雪禁止表示板の取付状況（防護柵支柱取付、遮音壁取付等）について、コードより選択し入力する。

(15) 【削除】

(16) 【削除】

(17) 【削除】

(18) 内訳箇所数量

当該投排雪禁止表示板が設置される箇所の内訳の数量（固定値 1）を入力する。

(19) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(20) 補修内容

当該投排雪禁止表示板の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

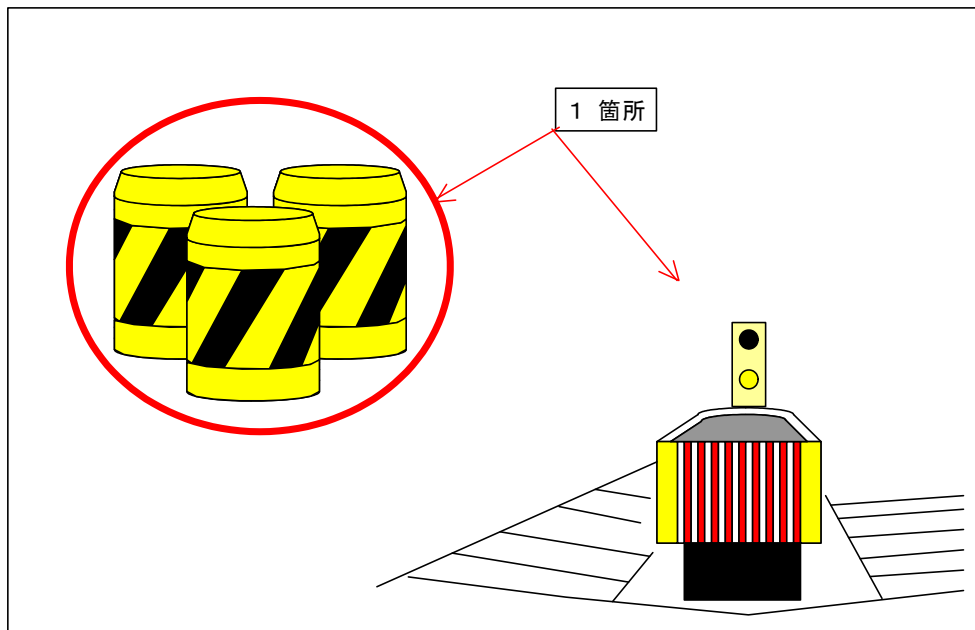
(21) 契約番号

当該投排雪禁止表示板を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-7 衝突緩衝装置

衝突緩衝装置の設置箇所毎にデータを入力するものである。

衝突緩衝装置 参考図



- (1) 支社局
当該衝突緩衝装置を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該衝突緩衝装置を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該衝突緩衝装置が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該衝突緩衝装置が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該衝突緩衝装置が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該衝突緩衝装置が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該衝突緩衝装置が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該衝突緩衝装置が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該衝突緩衝装置が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。なお、本線と分岐する場合は、本線を選択する。IC、JCT、SA 内で分岐する場合は、それぞれ該当する施設名を選択するものとする。

(10) 連絡施設

当該衝突緩衝装置が、IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該衝突緩衝装置が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該衝突緩衝装置のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

衝突緩衝装置の設置位置を示すものである。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA

当該衝突緩衝装置の設置位置を入力する。

(イ) 建設_ランプ名

当該衝突緩衝装置が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 建設_NO

当該衝突緩衝装置がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP

当該衝突緩衝装置の設置位置を入力する。

- (イ) 管理_ランプ名
当該衝突緩衝装置が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。
- (ウ) 管理_NO
当該衝突緩衝装置がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

- (14) 分類
当該衝突緩衝装置の分類(クッションドラム、クオートガード等)についてコードより選択し入力する。

- (15) 【削除】

- (16) 設置個数
当該衝突緩衝装置の分類からクッションドラムを選択した場合に、その内訳の数量(設置個数)を入力する。

- (17) 【削除】

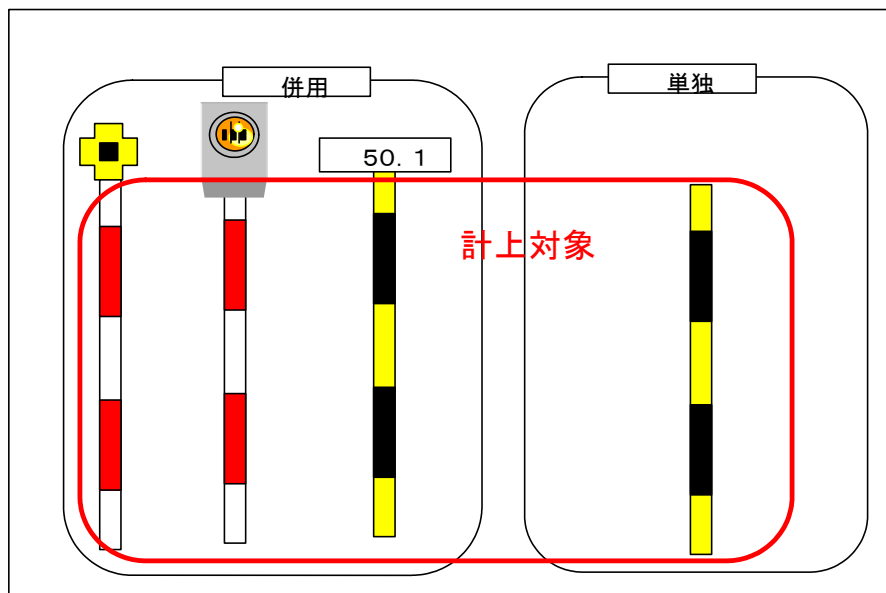
- (18) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。

- (19) 補修内容
当該衝突緩衝装置の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

- (20) 契約番号
当該衝突緩衝装置を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-8 スノーポール（単独）

スノーポール（単独）の設置箇所毎にデータを入力するものである。スノーポール（単独）（以下、「スノーポール」という。）は、下図のとおりとする。なお、通年を通して常設されているものだけを対象とするものとする（冬期間のみ設置される場合等を除く）。



- (1) 支社局
当該スノーポールを管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該スノーポールを管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該スノーポールが、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC（自）
当該スノーポールが、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC（至）
当該スノーポールが、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該スノーポールが、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該スノーポールが、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該スノーポールが、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該スノーポールが、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該スノーポールが IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該スノーポールが SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該スノーポールのデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

スノーポールの種別や高さが連続する区間毎に、位置を示すものである。測点は、スノーポールの種別や高さが連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該スノーポールの起点側測点を入力する。KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該スノーポールの終点側測点を入力する。KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該スノーポールが存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該スノーポールがランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該スノーポールがランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該スノーポールの起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該スノーポールの終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該スノーポールが存在するランプ名称を A, B, C, D・……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該スノーポールがランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該スノーポールがランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(14) 【削除】

(15) 【削除】

(16) 高さ

当該スノーポールの設置高さ（m）を入力する。

(17) 【削除】

(18) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(19) 補修内容

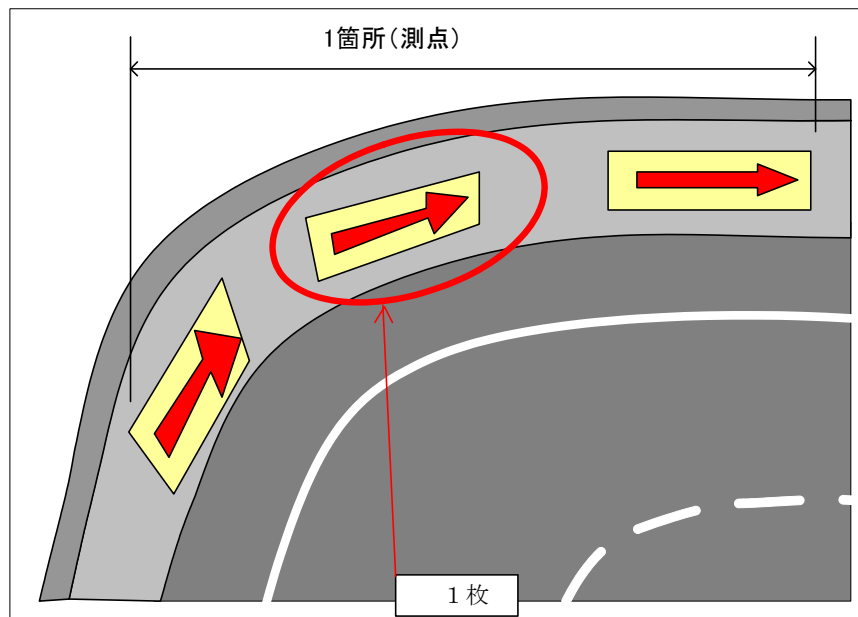
当該スノーポールの設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(20) 契約番号

当該スノーポールを施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-9 矢印板

矢印板の材料・分類・設置場所及び設置目的が同一で連続する区間を 1 箇所とし設置位置・枚数等をデータ入力する。



- (1) 支社局
当該矢印板を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該矢印板を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該矢印板が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該矢印板が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該矢印板が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該矢印板が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該矢印板が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該矢印板が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該矢印板が、存在する箇所区分(本線、IC、JCT、SA 等)をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該矢印板が、IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該矢印板が、SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) STA・KP・NO の測点作成方法

矢印板の材料・分類若しくは設置目的が連続する区間の端から端を測点とし設置位置を示すものとする。建設時と補修時(供用後管理段階)では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA (自)

当該矢印板の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA (至)

当該矢印板の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該矢印板が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO (自)

当該矢印板がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO (至)

当該矢印板がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時(供用後管理段階)

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP (自)

当該矢印板の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP (至)

当該矢印板の終点側測点を入力する。

- (ウ) 管理_ランプ名
当該矢印板が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。
- (エ) 管理_NO (自)
当該矢印板がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。
- (オ) 管理_NO (至)
当該矢印板がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

- (13) 分類
当該矢印板のタイプ (反射式、ソーラー式、路側電源方式) をコードから選択し入力する。

- (14) 枚数
基本情報画面で当該箇所に設置した矢印板の枚数 (単位箇所数) を入力する。

- (15) 取付タイプ
当該矢印板と構造物の取付状況 (土中建込み、壁高欄取付等) について、コードより選択し入力する。

- (16) 表示板縦寸法
当該矢印板の縦寸法 (mm) を入力する。

- (17) 表示板横寸法
当該矢印板の横寸法 (mm) を入力する。

- (18) 支柱材料
当該矢印板の支柱部材料 (鋼材、アルミ、支柱なし、その他) をコードより選択し入力する。

- (19) 基礎工形式
当該矢印板の基礎工形式 (コンクリート基礎、杭基礎、その他) をコードより選択し入力する。

- (20) 製品名
当該矢印板の製品名を入力する。

- (21) 【削除】

- (22) 【削除】

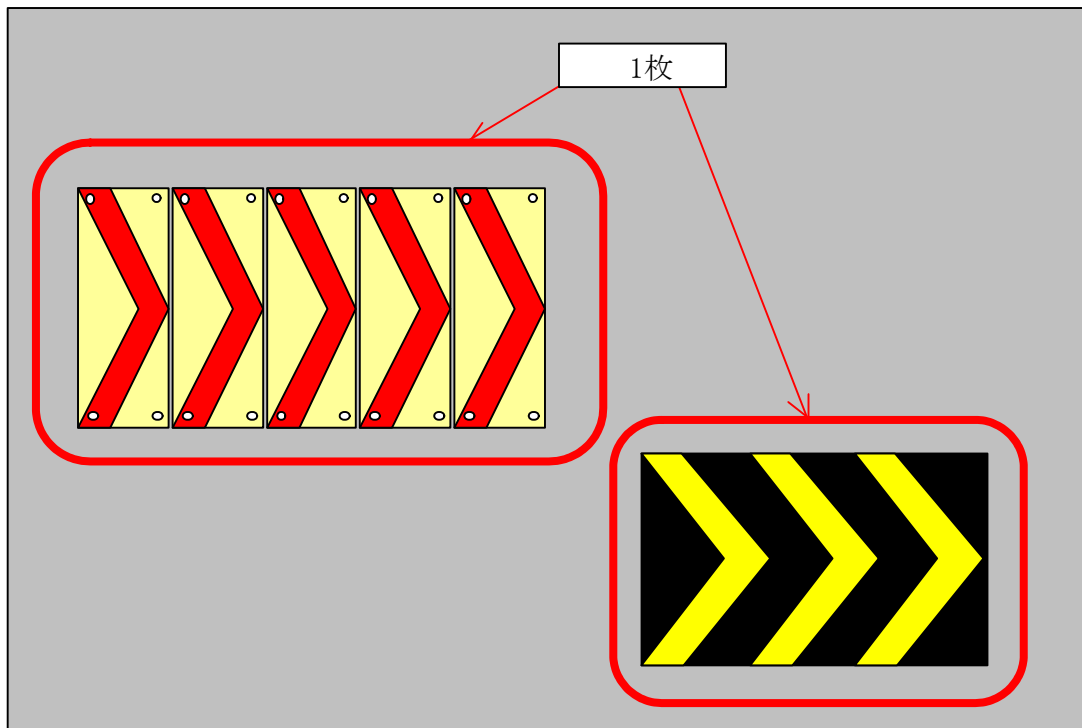
- (23) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。

- (24) 補修内容
当該矢印板の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

- (25) 契約番号
当該矢印板を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-10 矢羽根板

矢羽根板の材料・分類・設置場所及び設置目的が同一で連続する区間を 1 箇所とし設置位置・枚数等をデータ入力する。



- (1) 支社局
当該矢羽根板を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該矢羽根板を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該矢羽根板が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該矢羽根板が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該矢羽根板が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該矢羽根板が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

- (7) ルート区分
 当該矢羽根板が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
 当該矢羽根板が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
 当該矢羽根板が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 連絡施設
 当該矢羽根板が、IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。
- (11) 休憩等施設
 当該矢羽根板が、SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。
- (12) STA・KP・NO の測点作成方法
 当該矢羽根板の材料・分類若しくは設置目的が連続する区間の端から端を測点とし設置位置を示すものとする。建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。
- (a) 建設時
 建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。
- (ア) 建設_STA（自）
 当該矢羽根板の起点側測点を入力する。KP 変換時に起点側となる方を入力。
- (イ) 建設_STA（至）
 当該矢羽根板の終点側測点を入力する。KP 変換時に終点側となる方を入力。
- (ウ) 建設_ランプ名
 当該矢羽根板が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。
- (エ) 建設_NO（自）
 当該矢羽根板がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。
- (オ) 建設_NO（至）
 当該矢羽根板がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。
- (b) 補修時（供用後管理段階）
 補修時の測点は、KP を用いるものとする。
- (ア) 管理_KP（自）
 当該矢羽根板の起点側測点を入力する。

- (イ) 管理_KP (至)
当該矢羽根板の終点側測点を入力する。
- (ウ) 管理_ランプ名
当該矢羽根板が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。
- (エ) 管理_NO (自)
当該矢羽根板がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。
- (オ) 管理_NO (至)
当該矢羽根板がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

- (13) 分類
当該矢羽根板のタイプ (反射式、ソーラー式、路側電源方式) をコードから選択し入力する。

- (14) 枚数
基本情報画面で当該箇所に設置した矢羽根板の枚数 (単位箇所数) を入力する。

- (15) 取付タイプ
当該矢羽根板と構造物の取付状況 (土中建込み、壁高欄取付等) について、コードより選択し入力する。

- (16) 表示板縦寸法
当該矢羽根板の縦寸法 (mm) を入力する。

- (17) 表示板横寸法
当該矢羽根板の横寸法 (mm) を入力する。

- (18) 支柱材料
当該矢羽根板の支柱部材料 (鋼材、アルミ、支柱なし、その他) をコードより選択し入力する。

- (19) 基礎工形式
当該矢印板の基礎工形式 (コンクリート基礎、杭基礎、その他) をコードより選択し入力する。

- (20) 製品名
当該矢羽根板の製品名を入力する。

- (21) 【削除】

(22) 【削除】

(23) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(24) 補修内容

当該矢羽根板の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

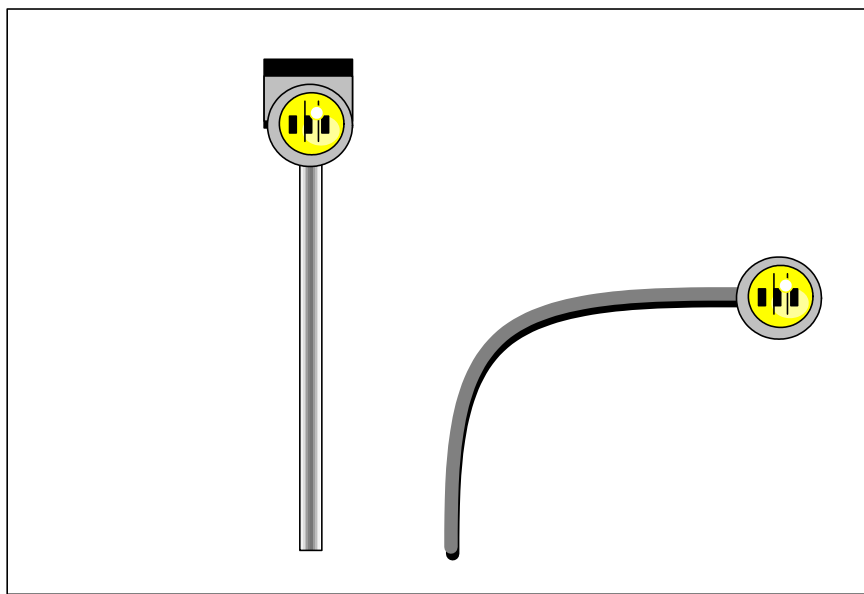
(25) 契約番号

当該矢羽根板を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-11 自発光デリニエータ

自発光デリニエータの材料・分類・設置場所及び設置目的が同一で連続する区間を 1 箇所とし設置位置・枚数等をデータ入力する。

自発光デリニエータはソーラー式その他、遠制のかかっていない路側等からの引き込み電源方式のものも含むものとする。



- (1) 支社局
当該自発光デリニエータを管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該自発光デリニエータを管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該自発光デリニエータが、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該自発光デリニエータが、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該自発光デリニエータが、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

- (6) 上下線区分
当該自発光デリニエータが、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該自発光デリニエータが、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該自発光デリニエータが、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該自発光デリニエータが、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 連絡施設
当該自発光デリニエータが、IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。
- (11) 休憩等施設
当該自発光デリニエータが、SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。
- (12) STA・KP・NO の測点作成方法
自発光デリニエータの材料・分類若しくは設置目的が連続する区間の端から端を測点とし設置位置を示すものとする。建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。
- (a) 建設時
建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。
- (ア) 建設_STA（自）
当該自発光デリニエータの起点側測点を入力する。KP 変換時に起点側となる方を入力。
- (イ) 建設_STA（至）
当該自発光デリニエータの終点側測点を入力する。KP 変換時に終点側となる方を入力。
- (ウ) 建設_ランプ名
当該自発光デリニエータが、存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

- (エ) 建設_NO (自)
当該自発光デリニエータが、ランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。
- (オ) 建設_NO (至)
当該自発光デリニエータが、ランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

- (b) 補修時 (供用後管理段階)
補修時の測点は、KP を用いるものとする。
 - (ア) 管理_KP (自)
当該自発光デリニエータの起点側測点を入力する。
 - (イ) 管理_KP (至)
当該自発光デリニエータの終点側測点を入力する。
 - (ウ) 管理_ランプ名
当該自発光デリニエータが、存在するランプ名称を A, B, C, D・……で入力する。
 - (エ) 管理_NO (自)
当該自発光デリニエータが、ランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。
 - (オ) 管理_NO (至)
当該自発光デリニエータが、ランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

- (13) 分類
当該自発光デリニエータのタイプ (反射式、ソーラー式、路側電源方式) をコードから選択し入力する。

- (14) 基数
基本情報画面で当該箇所に設置した自発光デリニエータの基数 (単位箇所数) を入力する。

- (15) 取付タイプ
当該自発光デリニエータと構造物の取付状況 (土中建込み、壁高欄取付等) について、コードより選択し入力する。

- (16) 寸法
当該自発光デリニエータの自発光部の径 (ϕ mm) を入力する。

- (17) 支柱材料
当該自発光デリニエータの支柱部材料（鋼材、アルミ、支柱なし、その他）をコードより選択し入力する。

- (18) 基礎工形式
当該自発光デリニエータの基礎工形式（コンクリート基礎、その他）をコードより選択し入力する。

- (19) 製品名
当該自発光デリニエータの製品名を入力する。

- (20) 【削除】

- (21) 【削除】

- (22) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。

- (23) 補修内容
当該自発光デリニエータの設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

- (24) 契約番号
当該自発光デリニエータを施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-12 飛砂防止柵

飛砂防止柵の設置位置、延長をデータ入力するものである。

(1) 支社局

当該飛砂防止柵を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該飛砂防止柵を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該飛砂防止柵が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該飛砂防止柵が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC (至)

当該飛砂防止柵が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該飛砂防止柵が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該飛砂防止柵が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該飛砂防止柵が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該飛砂防止柵が存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 設置場所

当該飛砂防止柵が設置されている場所（盛土部、切土部、高架橋下、その他）をコードより選択し入力する。なお、平坦部は盛土部に含むものとする。

(11) 設置位置

当該飛砂防止柵が、進行方向の左右どちらに設置されているかをコードから選択し入力する。

(12) 連絡施設

当該飛砂防止柵が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(13) 休憩等施設

当該飛砂防止柵が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(14) 番号

当該飛砂防止柵のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(15) STA・KP・NO の測点作成方法

飛砂防止柵の測点は、同一の設置高さが連続する区間毎に、位置を示すものである。測点は、同一飛砂防止柵が連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該飛砂防止柵の起点側測点を入力する。
KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該飛砂防止柵の終点側測点を入力する。
KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該飛砂防止柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該飛砂防止柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該飛砂防止柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該飛砂防止柵の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該飛砂防止柵の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該飛砂防止柵が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_NO (自)

当該飛砂防止柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO (至)

当該飛砂防止柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(16) 【削除】

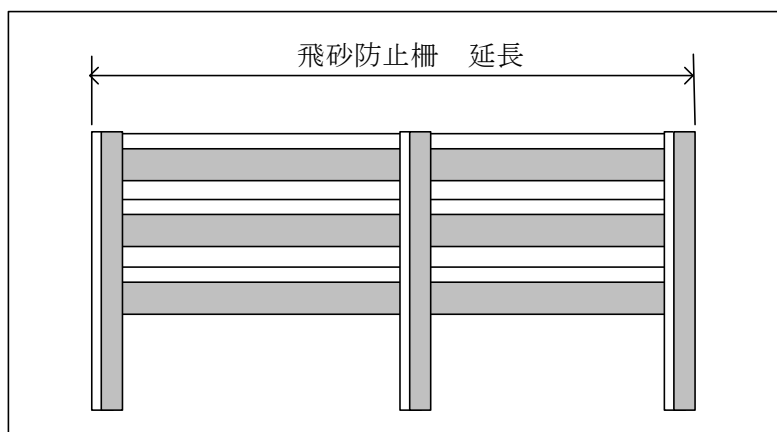
(17) 【削除】

(18) 設置高さ

当該飛砂防止柵の設置高さ (m) を入力する。

(19) 延長

当該飛砂防止柵の設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(20) 基礎工形式

当該飛砂防止柵の基礎工形式 (コンクリート基礎、杭基礎、その他) をコードより選択し入力する。

(21) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(22) 補修内容

当該飛砂防止柵の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(23) 契約番号

当該飛砂防止柵を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-13 越波防止柵

越波防止柵の設置位置、延長をデータ入力するものである。

- (1) 支社局
当該越波防止柵を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該越波防止柵を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該越波防止柵が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC（自）
当該越波防止柵が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC（至）
当該越波防止柵が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該越波防止柵が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該越波防止柵が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該越波防止柵が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該越波防止柵が存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 設置場所
当該越波防止柵が設置されている場所（盛土部、切土部、高架橋下、その他）をコードより選択し入力する。なお、平坦部は盛土部に含むものとする。
- (11) 設置位置
当該越波防止柵が、進行方向の左右どちらに設置されているかをコードから選択し入力する。

(12) 連絡施設

当該越波防止柵が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(13) 休憩等施設

当該越波防止柵が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(14) 番号

当該越波防止柵のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(15) STA・KP・NO の測点作成方法

越波防止柵の測点は、同一の設置高さが連続する区間毎に、位置を示すものである。測点は、同一越波防止柵が連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該越波防止柵の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該越波防止柵の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該越波防止柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該越波防止柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該越波防止柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該越波防止柵の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該越波防止柵の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該越波防止柵が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_NO (自)

当該越波防止柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO (至)

当該越波防止柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(16) 【削除】

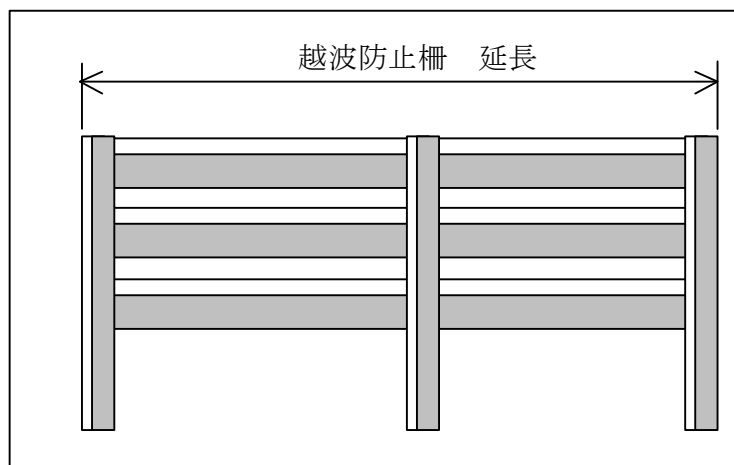
(17) 【削除】

(18) 設置高さ

当該越波防止柵の設置高さ (m) を入力する。

(19) 延長

当該越波防止柵の設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(20) 基礎工形式

当該越波防止柵の基礎工形式 (コンクリート基礎、杭基礎、その他) をコードより選択し入力する。

(21) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(22) 補修内容

当該越波防止柵の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(23) 契約番号

当該越波防止柵を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-14 凍結防止剤飛散防止ネット(柵)

凍結防止剤飛散防止ネット若しくは凍結防止剤飛散防止柵（以下「凍結防止剤飛散防止施設」という。）の設置位置、延長をデータ入力するものである。

(1) 支社局

当該凍結防止剤飛散防止施設を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該凍結防止剤飛散防止施設を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該凍結防止剤飛散防止施設が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該凍結防止剤飛散防止施設が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC (至)

当該凍結防止剤飛散防止施設が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該凍結防止剤飛散防止施設が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該凍結防止剤飛散防止施設が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該凍結防止剤飛散防止施設が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該凍結防止剤飛散防止施設が存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 設置場所

当該凍結防止剤飛散防止施設が設置されている場所（盛土部、切土部、高架橋下、その他）をコードより選択し入力する。なお、平坦部は盛土部に含むものとする。

(11) 設置位置

当該凍結防止剤飛散防止施設が進行方向の左右どちらに設置されているかをコードから選択し入力する。

(12) 連絡施設

当該凍結防止剤飛散防止施設が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(13) 休憩等施設

当該凍結防止剤飛散防止施設が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(14) 番号

当該凍結防止剤飛散防止施設のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(15) STA・KP・NO の測点作成方法

凍結防止剤飛散防止施設の測点は、同一の設置高さが連続する区間毎に、位置を示すものである。測点は、同一凍結防止剤飛散防止施設が連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該凍結防止剤飛散防止施設の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該凍結防止剤飛散防止施設の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該凍結防止剤飛散防止施設が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

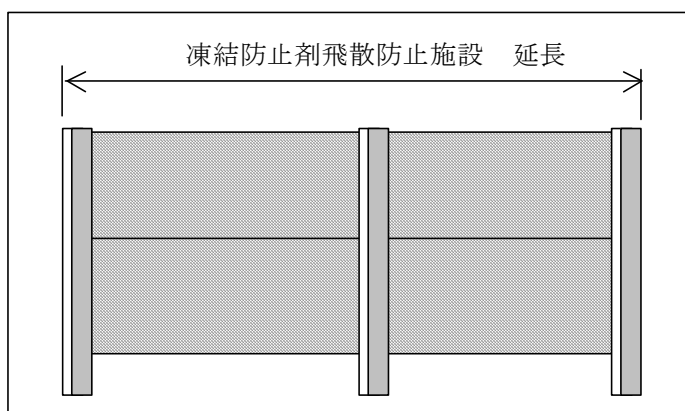
(エ) 建設_NO（自）

当該凍結防止剤飛散防止施設がランプに隣接する場合に起点側測点を入力する。

- (オ) 建設_NO (至)
当該凍結防止剤飛散防止施設がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。
- (b) 補修時 (供用後管理段階)
補修時の測点は、KP を用いるものとする。
 - (ア) 管理_KP (自)
当該凍結防止剤飛散防止施設の起点側測点を入力する。
 - (イ) 管理_KP (至)
当該凍結防止剤飛散防止施設の終点側測点を入力する。
 - (ウ) 管理_ランプ名
当該凍結防止剤飛散防止施設が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。
 - (エ) 管理_NO (自)
当該凍結防止剤飛散防止施設がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。
 - (オ) 管理_NO (至)
当該凍結防止剤飛散防止施設がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。
- (16) 柵種別
当該凍結防止剤飛散防止施設の柵部種別 (凍結防止剤飛散防止ネット、凍結防止剤飛散防止柵) をコードから選択し入力する。
- (17) 【削除】
- (18) 【削除】
- (19) 設置高さ
当該凍結防止剤飛散防止施設の設置高さ (m) を入力する。

(20) 延長

当該凍結防止剤飛散防止施設の設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(21) 基礎工形式

当該凍結防止剤飛散防止施設の基礎工形式 (コンクリート基礎、杭基礎、その他) をコードより選択し入力する。

(22) 【削除】

(23) 【削除】

(24) 【削除】

(25) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(26) 補修内容

当該凍結防止剤飛散防止施設の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(27) 契約番号

当該凍結防止剤飛散防止施設を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-15 防霧ネット

防霧ネットの設置位置、延長をデータ入力するものである。

- (1) 支社局
当該防霧ネットを管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該防霧ネットを管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該防霧ネットが、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該防霧ネットが、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該防霧ネットが、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該防霧ネットが、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該防霧ネットが、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該防霧ネットが、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該防霧ネットが存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 設置場所
当該防霧ネットが設置されている場所（盛土部、切土部、高架橋下、その他）をコードより選択し入力する。なお、平坦部は盛土部に含むものとする。
- (11) 設置位置
当該防霧ネットが進行方向の左右どちらに設置されているかをコードから選択し入力する。

(12) 連絡施設

当該防霧ネットが IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(13) 休憩等施設

当該防霧ネットが SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(14) 番号

当該防霧ネットのデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(15) STA・KP・NO の測点作成方法

防霧ネットの測点は、同一の設置高さが連続する区間毎に、位置を示すものである。測点は、同一防霧ネットが連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該防霧ネットの起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該防霧ネットの終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該防霧ネットが存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該防霧ネットがランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該防霧ネットがランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該防霧ネットの起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該防霧ネットの終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該防霧ネットが存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_NO (自)

当該防霧ネットがランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO (至)

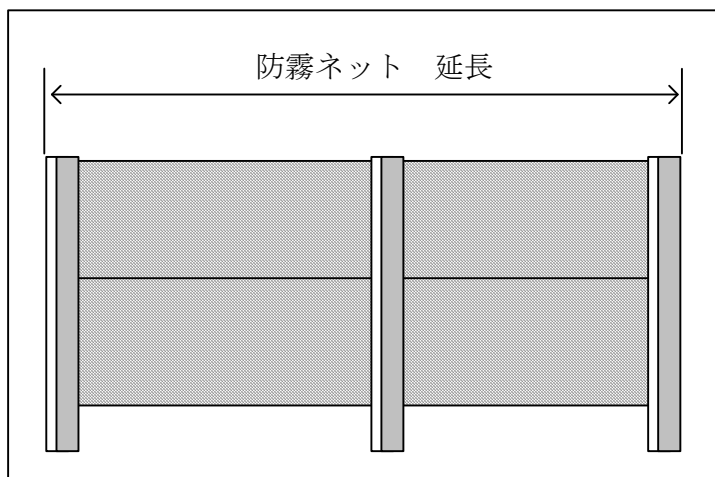
当該防霧ネットがランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(16) 設置高さ

当該防霧ネットの設置高さ (m) を入力する。

(17) 延長

当該防霧ネットの設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(18) 【削除】

(19) 【削除】

(20) 基礎工形式

当該防霧ネットの基礎工形式 (コンクリート基礎、杭基礎、その他) をコードより選択し
入力する。

(21) 【削除】

(22) 【削除】

(23) 【削除】

- (24) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。

- (25) 補修内容
当該防霧ネットの設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

- (26) 契約番号
当該防霧ネットを施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-16 飛雪防止柵

飛雪防止柵の設置位置、延長をデータ入力するものである。

- (1) 支社局
当該飛雪防止柵を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該飛雪防止柵を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該飛雪防止柵が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC（自）
当該飛雪防止柵が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC（至）
当該飛雪防止柵が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該飛雪防止柵が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該飛雪防止柵が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該飛雪防止柵が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該飛雪防止柵が存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 設置場所
当該飛雪防止柵が設置されている場所（盛土部、切土部、高架橋下、その他）をコードより選択し入力する。なお、平坦部は盛土部に含むものとする。
- (11) 設置位置
当該飛雪防止柵が進行方向の左右どちらに設置されているかをコードから選択し入力する。

(12) 連絡施設

当該飛雪防止柵が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(13) 休憩等施設

当該飛雪防止柵が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(14) 番号

当該飛雪防止柵のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(15) STA・KP・NO の測点作成方法

飛雪防止柵の測点は、同一の設置高さが連続する区間毎に、位置を示すものである。測点は、同一飛雪防止柵が連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該飛雪防止柵の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該飛雪防止柵の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該飛雪防止柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該飛雪防止柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該飛雪防止柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該飛雪防止柵の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該飛雪防止柵の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該飛雪防止柵が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_NO (自)

当該飛雪防止柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO (至)

当該飛雪防止柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(16) 【削除】

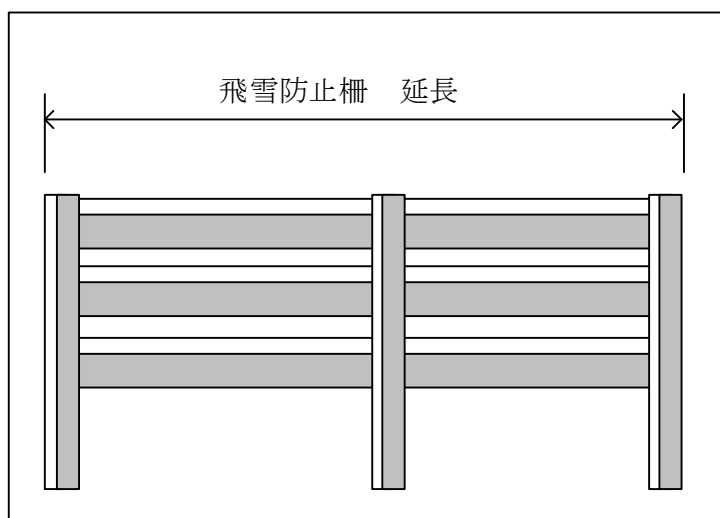
(17) 【削除】

(18) 設置高さ

当該飛雪防止柵の設置高さ (m) を入力する。

(19) 延長

当該飛雪防止柵の設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(20) 取付形式

当該飛雪防止柵の取付形式 (防護柵添加、壁高欄添加、その他) をコードより選択し入力する。

(21) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(22) 補修内容

当該飛雪防止柵の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(23) 契約番号

当該飛雪防止柵を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-17 雪氷作業案内板（電光式）

雪氷作業案内板のうち、ソーラー式及び路側電源方式のものについて、設置等のデータを入力するものである。



(1) 支社局

当該雪氷作業案内板を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該雪氷作業案内板を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該雪氷作業案内板が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC（自）

当該雪氷作業案内板が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

- (5) IC (至)
当該雪氷作業案内板が、存在する IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該雪氷作業案内板が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該雪氷作業案内板が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該雪氷作業案内板が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該雪氷作業案内板が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 設置場所
当該雪氷作業案内板が設置されている場所（盛土部、切土部、高架橋下、その他）をコードより選択し入力する。なお、平坦部は盛土部に含むものとする。
- (11) 設置位置
当該雪氷作業案内板が進行方向の左右どちらに設置されているかをコードから選択し入力する。
- (12) 連絡施設
当該雪氷作業案内板が、IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。
- (13) 休憩等施設
当該雪氷作業案内板が、SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。
- (14) 番号
当該雪氷作業案内板のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(15) STA・KP・NO の測点作成方法

雪氷作業案内板の設置位置を示すものである。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA

当該雪氷作業案内板の設置位置を入力する。

(イ) 建設_ランプ名

当該雪氷作業案内板が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 建設_NO

当該雪氷作業案内板がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP

当該雪氷作業案内板の設置位置を入力する。

(イ) 管理_ランプ名

当該雪氷作業案内板が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 管理_NO

当該雪氷作業案内板がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(16) 分類

当該雪氷作業案内板の電源方式（ソーラー式、路側電源方式）をコードから選択し入力する。

(17) 【削除】

(18) 基礎工形式

当該雪氷作業案内板の基礎工形式（コンクリート基礎、杭基礎、その他）をコードより選択し入力する。

(19) 【削除】

(20) 【削除】

(21) 【削除】

(22) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(23) 補修内容

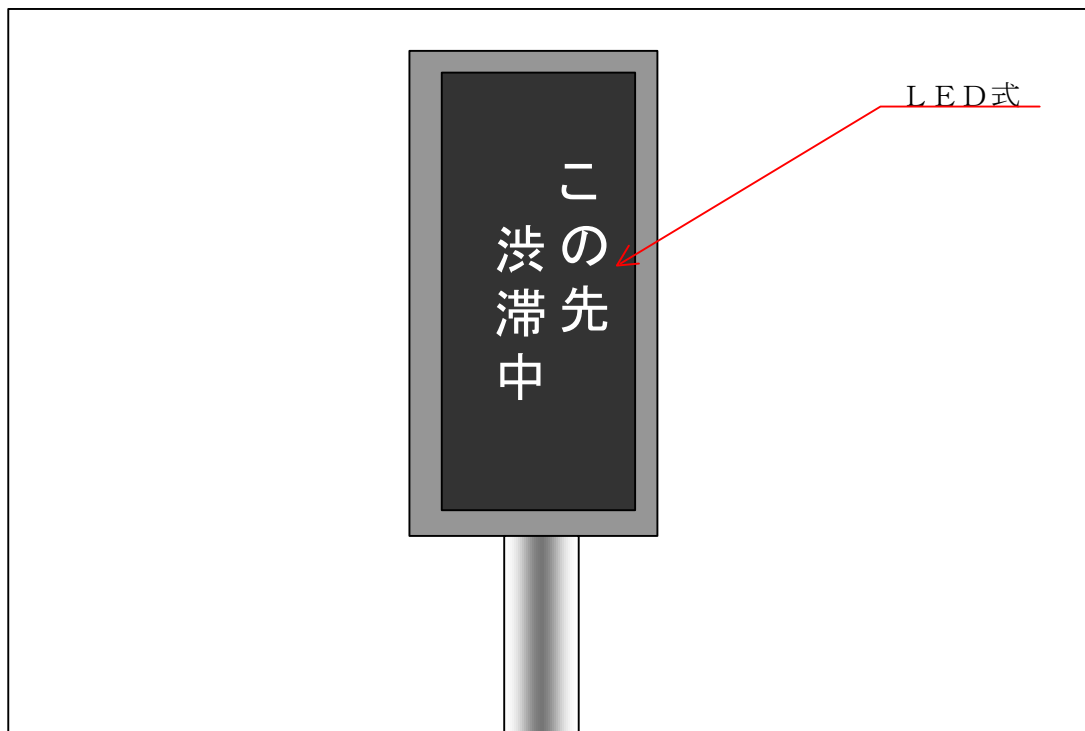
当該雪氷作業案内板の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(24) 契約番号

当該雪氷作業案内板を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-18 渋滞等注意喚起板（電光式）

渋滞等注意喚起板のうち、ソーラー式及び路側電源方式のものについて設置等のデータを入力するものである。



- (1) 支社局
当該渋滞等注意喚起板を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該渋滞等注意喚起板を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該渋滞等注意喚起板が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC（自）
当該渋滞等注意喚起板が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC（至）
当該渋滞等注意喚起板が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

- (6) 上下線区分
当該渋滞等注意喚起板が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該渋滞等注意喚起板が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該渋滞等注意喚起板が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該渋滞等注意喚起板が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 設置場所
当該渋滞等注意喚起板が、設置されている場所（盛土部、切土部、高架橋下、その他）をコードより選択し入力する。なお、平坦部は盛土部に含むものとする。
- (11) 設置位置
当該渋滞等注意喚起板が進行方向の左右どちらに設置されているかをコードから選択し入力する。
- (12) 連絡施設
当該渋滞等注意喚起板が、IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。
- (13) 休憩等施設
当該渋滞等注意喚起板が、SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。
- (14) 番号
当該渋滞等注意喚起板のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。
- (15) STA・KP・NO の測点作成方法
渋滞等注意喚起板の設置位置を示すものである。
建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA

当該渋滞等注意喚起板の設置位置を入力する。

(イ) 建設_ランプ名

当該渋滞等注意喚起板が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 建設_NO

当該渋滞等注意喚起板がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP

当該渋滞等注意喚起板の設置位置を入力する。

(イ) 管理_ランプ名

当該渋滞等注意喚起板が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 管理_NO

当該渋滞等注意喚起板がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(16) 分類

当該渋滞等注意喚起板の電源方式（ソーラー式、路側電源方式）をコードから選択し入力する。

(17) 【削除】

(18) 基礎工形式

当該渋滞等注意喚起板の基礎工形式（コンクリート基礎、杭基礎、その他）をコードより選択し入力する。

(19) 【削除】

(20) 【削除】

(21) 【削除】

(22) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(23) 補修内容

当該渋滞等注意喚起板の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(24) 契約番号

当該渋滞等注意喚起板を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-19 回転灯（赤）

赤色の回転灯について、設置等のデータを入力するものである。

(1) 支社局

当該回転灯(赤)を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該回転灯(赤)を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該回転灯(赤)が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC（自）

当該回転灯(赤)が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC（至）

当該回転灯(赤)が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該回転灯(赤)が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該回転灯(赤)が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該回転灯(赤)が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該回転灯(赤)が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 設置場所

当該回転灯(赤)が、設置されている場所（盛土部、切土部、高架橋下、その他）をコードより選択し入力する。なお、平坦部は盛土部に含むものとする。

(11) 設置位置

当該回転灯(赤)が、進行方向の左右どちらに設置されているかをコードから選択し入力する。

(12) 連絡施設

当該回転灯(赤)が、IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(13) 休憩等施設

当該回転灯(赤)が、SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(14) 番号

当該回転灯(赤)のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(15) STA・KP・NO の測点作成方法

回転灯(赤)の設置位置を示すものである。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA

当該回転灯(赤)の設置位置を入力する。

(イ) 建設_ランプ名

当該回転灯(赤)が、存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 建設_NO

当該回転灯(赤)が、ランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP

当該回転灯(赤)の設置位置を入力する。

(イ) 管理_ランプ名

当該回転灯(赤)が、存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 管理_NO

当該回転灯(赤)が、ランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(16) 分類

当該回転灯(赤)の電源方式（ソーラー式、路側電源方式）をコードから選択し入力する。

(17) 【削除】

第 17 編 土木その他構築物

(18) 基礎工形式

当該回転灯(赤)の基礎工形式(コンクリート基礎、その他)をコードより選択し入力する。

(19) 【削除】

(20) 【削除】

(21) 【削除】

(22) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(23) 補修内容

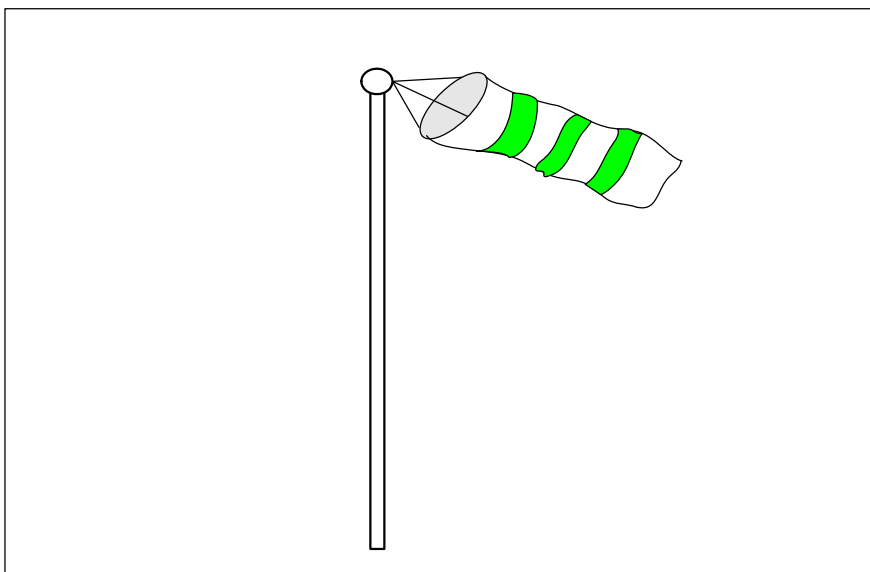
当該回転灯(赤)の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(24) 契約番号

当該回転灯(赤)を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-20 吹流し

吹流しの設置箇所毎にデータを入力するものである。



- (1) 支社局
当該吹流しを管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該吹流しを管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該吹流しが、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該吹流しが、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該吹流しが、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該吹流しが、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該吹流しが、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該吹流しが、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該吹流しが、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 設置場所

当該吹流しが、設置されている場所（盛土部、切土部、高架橋下、その他）をコードより選択し入力する。なお、平坦部は盛土部に含むものとする。

(11) 連絡施設

当該吹流しが、IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(12) 休憩等施設

当該吹流しが SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(13) 橋梁

当該吹流しが橋梁部に存在する場合、橋梁名をコードから選択して入力する。

(14) 番号

当該吹流しのデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(15) STA・KP・NO の測点作成方法

吹流しの設置位置を示すものである。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA

当該吹流しの設置位置を入力する。

(イ) 建設_ランプ名

当該吹流しが存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 建設_NO

当該吹流しがランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP

当該吹流しの設置位置を入力する。

- (イ) 管理_ランプ名
当該吹流しが存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。
- (ウ) 管理_NO
当該吹流しがランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

- (16) 【削除】

- (17) 【削除】

- (18) 基礎工形式
当該吹流しの基礎工形式（コンクリート基礎、杭基礎、その他）をコードより選択し入力する。

- (19) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。

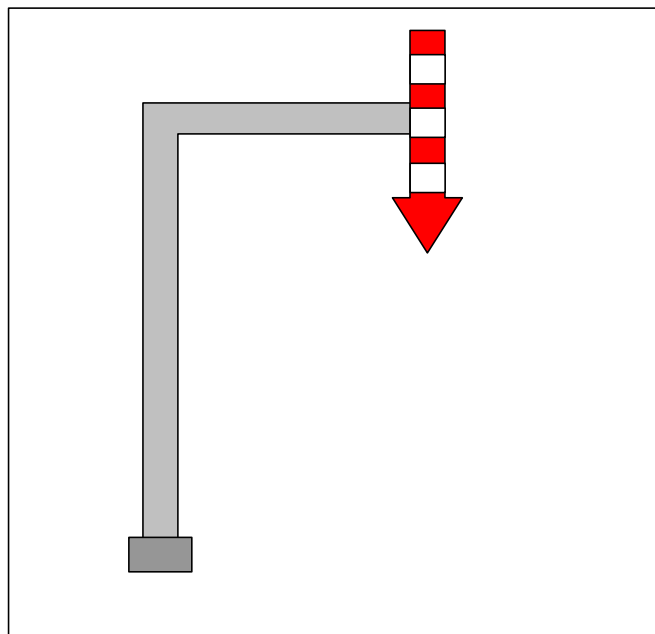
- (20) 補修内容
当該吹流しの設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

- (21) 契約番号
当該吹流しを施工した工事の契約番号を入力する。

- (22) 設置位置
当該吹流しが、進行方向の左右どちらに設置されているかをコードから選択し入力する。

2-6-21 路側線指標

路側線指標の分類・設置場所が同一で連続する区間毎にデータを入力するものである。



- (1) 支社局
当該路側線指標を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該路側線指標を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該路側線指標が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該路側線指標が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該路側線指標が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該路側線指標が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該路側線指標が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該路側線指標が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該路側線指標が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 設置場所

当該路側線指標が、設置されている場所（盛土部、切土部、高架橋下、その他）をコードより選択し入力する。なお、平坦部は盛土部に含むものとする。

(11) 連絡施設

当該路側線指標が、IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(12) 休憩等施設

当該路側線指標が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(13) 設置位置

当該路側帯指標が進行方向の左右どちらに設置されているかをコードから選択し入力する。

(14) 番号

当該路側帯指標のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(15) STA・KP・NO の測点作成方法

路側線指標の測点は、同一の分類が連続する区間毎に、位置を示すものである。測点は、同一路側線指標が連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該路側線指標の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

- (イ) 建設_STA (至)
当該路側線指標の終点側測点を入力する。
KP 変換時に終点側となる方を入力。
 - (ウ) 建設_ランプ名
当該路側線指標が存在するランプ名称を A, B, C, D·····で入力する。
 - (エ) 建設_NO (自)
当該路側線指標がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。
 - (オ) 建設_NO (至)
当該路側線指標がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。
- (b) 補修時 (供用後管理段階)
- 補修時の測点は、KP を用いるものとする。
 - (ア) 管理_KP (自)
当該路側線指標の起点側測点を入力する。
 - (イ) 管理_KP (至)
当該路側線指標の終点側測点を入力する。
 - (ウ) 管理_ランプ名
当該路側線指標が存在するランプ名称を A, B, C, D·····で入力する。
 - (エ) 管理_NO (自)
当該路側線指標がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。
 - (オ) 管理_NO (至)
当該路側線指標がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。
- (16) 分類
路側線指標の電源方式 (反射式、ソーラー式、路側電源方式) をコードから選択し入力する。
- (17) 【削除】
- (18) 【削除】
- (19) 内訳箇所数
同一分類の内訳の箇所数を入力する。
- (20) 基礎工形式
当該路側線指標の基礎工形式 (コンクリート基礎、杭基礎、その他) をコードより選択し入力する。

- (21) 【削除】
- (22) 【削除】
- (23) 【削除】
- (24) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。
- (25) 補修内容
当該路側線指標の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。
- (26) 契約番号
当該路側線指標を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-22 雪崩予防柵

雪崩予防柵の設置位置、延長をデータ入力するものである。

- (1) 支社局
当該雪崩予防柵を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該雪崩予防柵を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該雪崩予防柵が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC（自）
当該雪崩予防柵が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC（至）
当該雪崩予防柵が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該雪崩予防柵が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該雪崩予防柵が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該雪崩予防柵が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該雪崩予防柵が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 連絡施設
当該雪崩予防柵が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。
- (11) 休憩等施設
当該雪崩予防柵が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該雪崩予防柵のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

雪崩予防柵の設置位置を、同一の設置高さが連続する区間毎に、高速道路の測点で示すものである。測点は、同一雪崩予防柵が連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該雪崩予防柵の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該雪崩予防柵の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該雪崩予防柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該雪崩予防柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該雪崩予防柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該雪崩予防柵の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該雪崩予防柵の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該雪崩予防柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該雪崩予防柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該雪崩予防柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

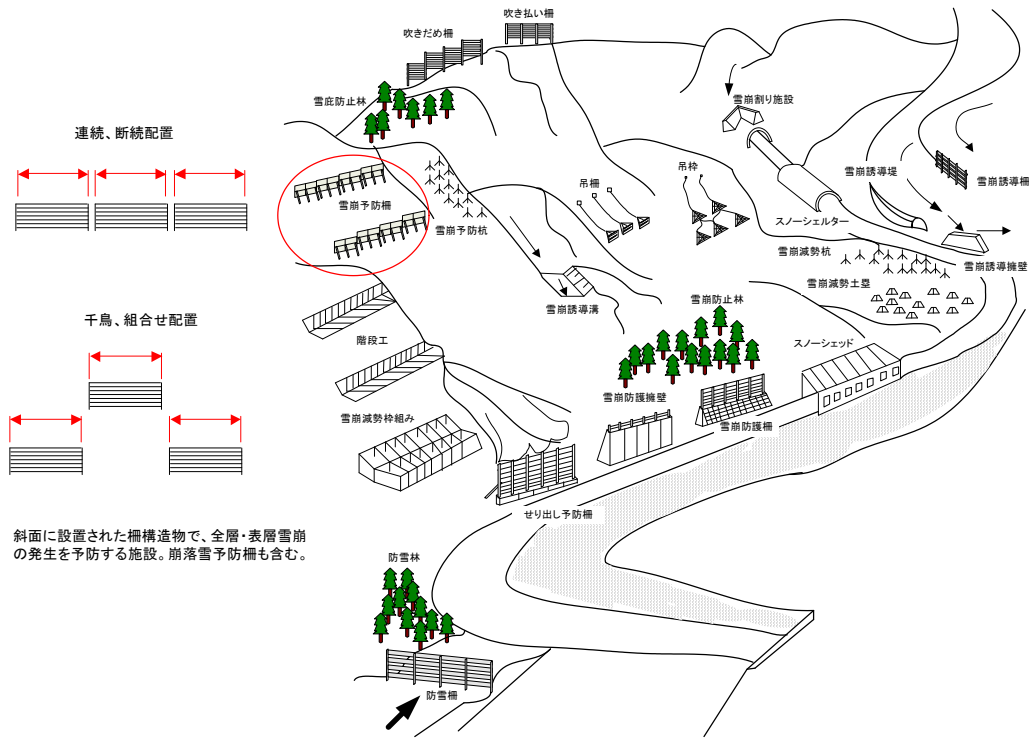
(14) 【削除】

(15) 設置高さ

当該雪崩予防柵の設置高さ (m) を入力する。

(16) 延長

当該雪崩予防柵の設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(17) 【削除】

(18) 【削除】

(19) 【削除】

(20) 基礎工形式

当該雪崩予防柵の基礎工形式 (土中埋込式、コンクリート基礎等) をコードより選択し入力する。

(21) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(22) 補修内容

当該雪崩予防柵の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(23) 契約番号

当該雪崩予防柵を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-23 吹き溜め柵

吹き溜め柵の設置位置、延長をデータ入力するものである。

吹き溜め柵では、雪庇予防施設を対象とする。地吹雪を対象とする施設は「防雪柵」でデータを作成すること。

(1) 支社局

当該吹き溜め柵を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該吹き溜め柵を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該吹き溜め柵が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該吹き溜め柵が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC (至)

当該吹き溜め柵が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該吹き溜め柵が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該吹き溜め柵が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該吹き溜め柵が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該吹き溜め柵が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該吹き溜め柵が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該吹き溜め柵が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該吹き溜め柵のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

当該吹き溜め柵の設置位置を、同一の設置高さが連続する区間毎に、高速道路の測点で示すものである。測点は、同一吹き溜め柵が連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該吹き溜め柵の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該吹き溜め柵の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該吹き溜め柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該吹き溜め柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該吹き溜め柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該吹き溜め柵の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該吹き溜め柵の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該吹き溜め柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該吹き溜め柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO (至)

当該吹き溜め柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

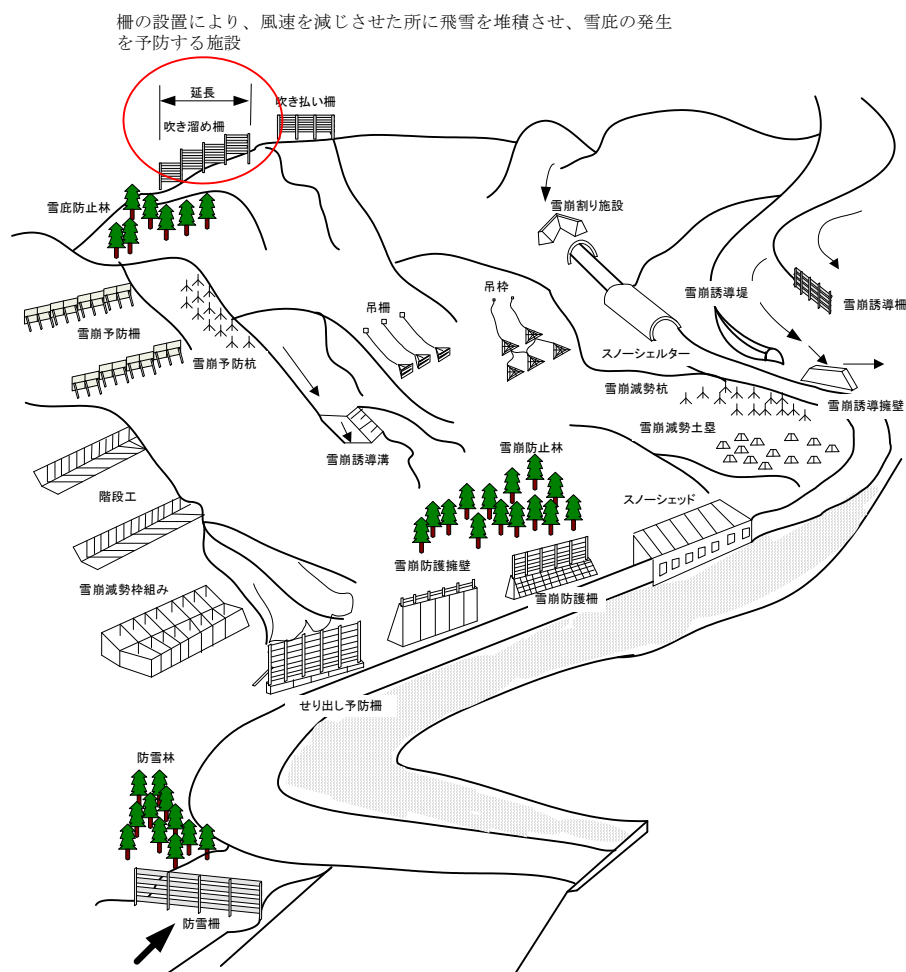
(14) 【削除】

(15) 設置高さ

当該吹き溜め柵の設置高さ (m) を入力する。

(16) 延長

当該吹き溜め柵の設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(17) 【削除】

(18) 【削除】

(19) 【削除】

(20) 基礎工形式

当該吹き溜め柵の基礎工形式（土中埋込式、コンクリート基礎等）をコードより選択し入力する。

(21) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(22) 補修内容

当該吹き溜め柵の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(23) 契約番号

当該吹き溜め柵を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-24 吹き払い柵

吹き払い柵の設置位置、延長をデータ入力するものである。

吹き払い柵では、雪庇予防施設を対象とする。地吹雪を対象とする施設は「防雪柵」でデータ作成すること。

(1) 支社局

当該吹き払い柵を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該吹き払い柵を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該吹き払い柵が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該吹き払い柵が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC (至)

当該吹き払い柵が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該吹き払い柵が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該吹き払い柵が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該吹き払い柵が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該吹き払い柵が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該吹き払い柵が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該吹き払い柵が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該吹き払い柵のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

当該吹き払い柵の設置位置を、同一の設置高さが連続する区間毎に、高速道路の測点で示すものである。測点は、同一吹き払い柵が連続する区間の端部とする。建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該吹き払い柵の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該吹き払い柵の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該吹き払い柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該吹き払い柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該吹き払い柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該吹き払い柵の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該吹き払い柵の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該吹き払い柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 管理_NO (自)

当該吹き払い柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO (至)

当該吹き払い柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(14) 【削除】

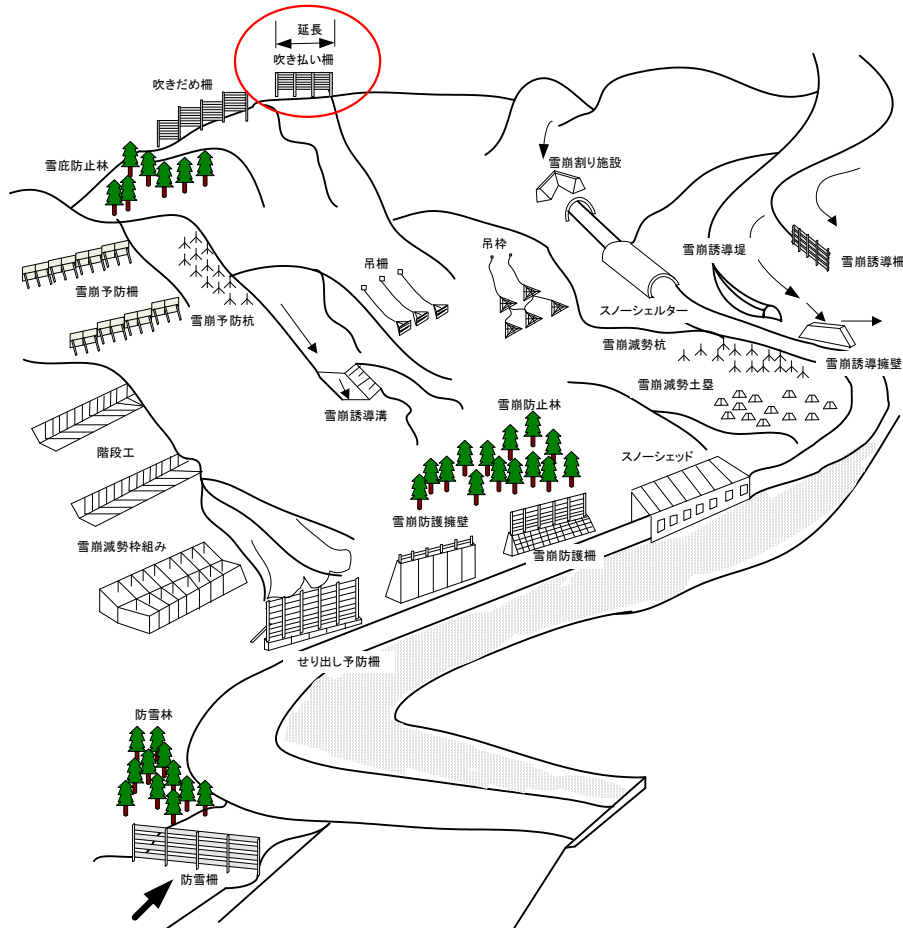
(15) 設置高さ

当該吹き払い柵の設置高さ (m) を入力する。

(16) 延長

当該吹き払い柵の設置又は補修実延長 (m) を入力する。

柵の設置により、風をそらしたり加速させて雪庇の発生を予防する施設。



(17) 【削除】

(18) 【削除】

(19) 【削除】

(20) 基礎工形式

当該吹き払い柵の基礎工形式（土中埋込式、コンクリート基礎）をコードより選択し入力する。

(21) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(22) 補修内容

当該吹き払い柵の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(23) 契約番号

当該吹き払い柵を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-25 雪崩誘導柵

雪崩誘導柵の設置位置、延長をデータ入力するものである。

- (1) 支社局
当該雪崩誘導柵を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該雪崩誘導柵を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該雪崩誘導柵が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC（自）
当該雪崩誘導柵が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC（至）
当該雪崩誘導柵が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該雪崩誘導柵が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該雪崩誘導柵が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該雪崩誘導柵が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該雪崩誘導柵が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 連絡施設
当該雪崩誘導柵が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。
- (11) 休憩等施設
当該雪崩誘導柵が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該雪崩誘導柵のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

当該雪崩誘導柵の設置位置を、同一の設置高さが連続する区間毎に、高速道路の測点で示すものである。測点は、同一雪崩誘導柵が連続する区間の端部とする。建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該雪崩誘導柵の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該雪崩誘導柵の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該雪崩誘導柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該雪崩誘導柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該雪崩誘導柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該雪崩誘導柵の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該雪崩誘導柵の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該雪崩誘導柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該雪崩誘導柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該雪崩誘導柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(14) 【削除】

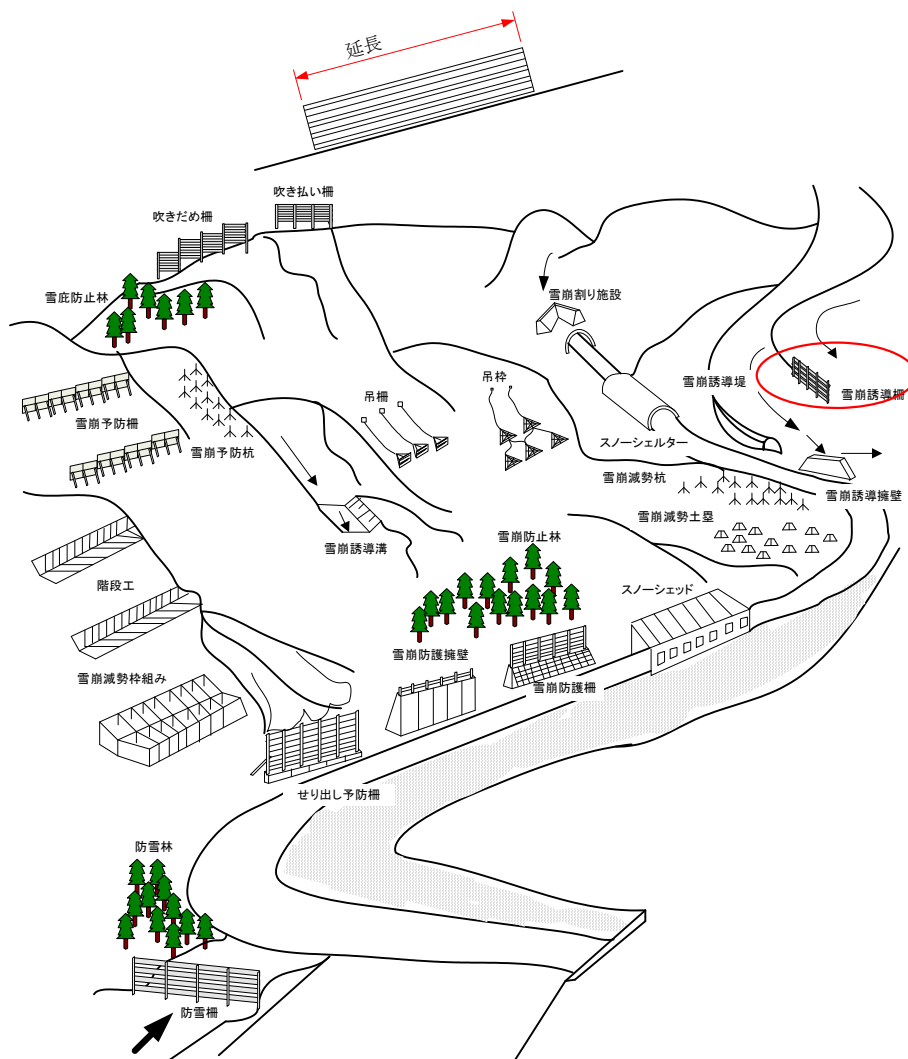
(15) 設置高さ

当該雪崩誘導柵の設置高さ (m) を入力する。

(16) 延長

当該雪崩誘導柵の設置又は補修実延長 (m) を入力する。

雪崩を柵構造に斜め方向から衝突させて、進路を変える施設。



(17) 【削除】

(18) 【削除】

(19) 【削除】

(20) 基礎工形式

当該雪崩誘導柵の基礎工形式（土中埋込式、コンクリート基礎等）をコードより選択し入力する。

(21) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(22) 補修内容

当該雪崩誘導柵の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(23) 契約番号

当該雪崩誘導柵を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-26 雪崩防護柵

雪崩防護柵の設置位置、延長をデータ入力するものである。

- (1) 支社局
当該雪崩防護柵を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該雪崩防護柵を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該雪崩防護柵が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該雪崩防護柵が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該雪崩防護柵が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該雪崩防護柵が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該雪崩防護柵が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該雪崩防護柵が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該雪崩防護柵が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 連絡施設
当該雪崩防護柵が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。
- (11) 休憩等施設
当該雪崩防護柵が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該雪崩防護柵のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

当該雪崩防護柵の設置位置を、同一の設置高さが連続する区間毎に、高速道路の測点で示すものである。測点は、同一雪崩防護柵が連続する区間の端部とする。建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該雪崩防護柵の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該雪崩防護柵の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該雪崩防護柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該雪崩防護柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該雪崩防護柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該雪崩防護柵の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該雪崩防護柵の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該雪崩防護柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該雪崩防護柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該雪崩防護柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

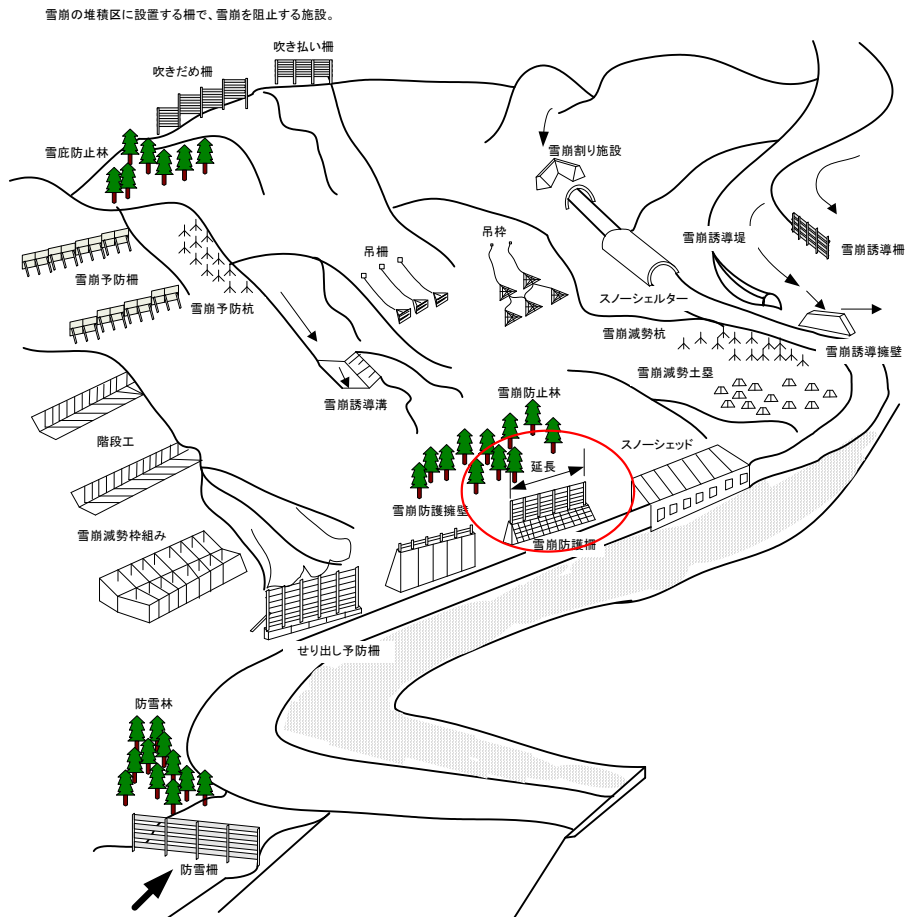
(14) 【削除】

(15) 設置高さ

当該雪崩防護柵の設置高さ (m) を入力する。

(16) 延長

当該雪崩防護柵の設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(17) 【削除】

(18) 【削除】

(19) 【削除】

(20) 基礎工形式

当該雪崩防護柵の基礎工形式 (土中埋込式、コンクリート基礎等) をコードより選択し入力する。

- (21) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。

- (22) 補修内容
当該雪崩防護柵の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

- (23) 契約番号
当該雪崩防護柵を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-27 せり出し防止柵

せり出し防止柵の設置位置、延長をデータ入力するものである。

なお、雪崩防護擁壁またはブロック積みの天端に設置された柵も含むものとする。

(1) 支社局

当該せり出し防止柵を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該せり出し防止柵を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該せり出し防止柵が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該せり出し防止柵が、存在する IIC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC (至)

当該せり出し防止柵が、存在する IIC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該せり出し防止柵が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該せり出し防止柵が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該せり出し防止柵が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該せり出し防止柵が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該せり出し防止柵が IC・JCT に存在する場合は、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該せり出し防止柵が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該せり出し防止柵のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

当該せり出し防止柵の設置位置を、同一の設置高さが連続する区間毎に、高速道路の測点で示すものである。測点は、同一せり出し防止柵が連続する区間の端部とする。建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該せり出し防止柵の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該せり出し防止柵の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該せり出し防止柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該せり出し防止柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該せり出し防止柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該せり出し防止柵の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該せり出し防止柵の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該せり出し防止柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該せり出し防止柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO (至)

当該せり出し防止柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

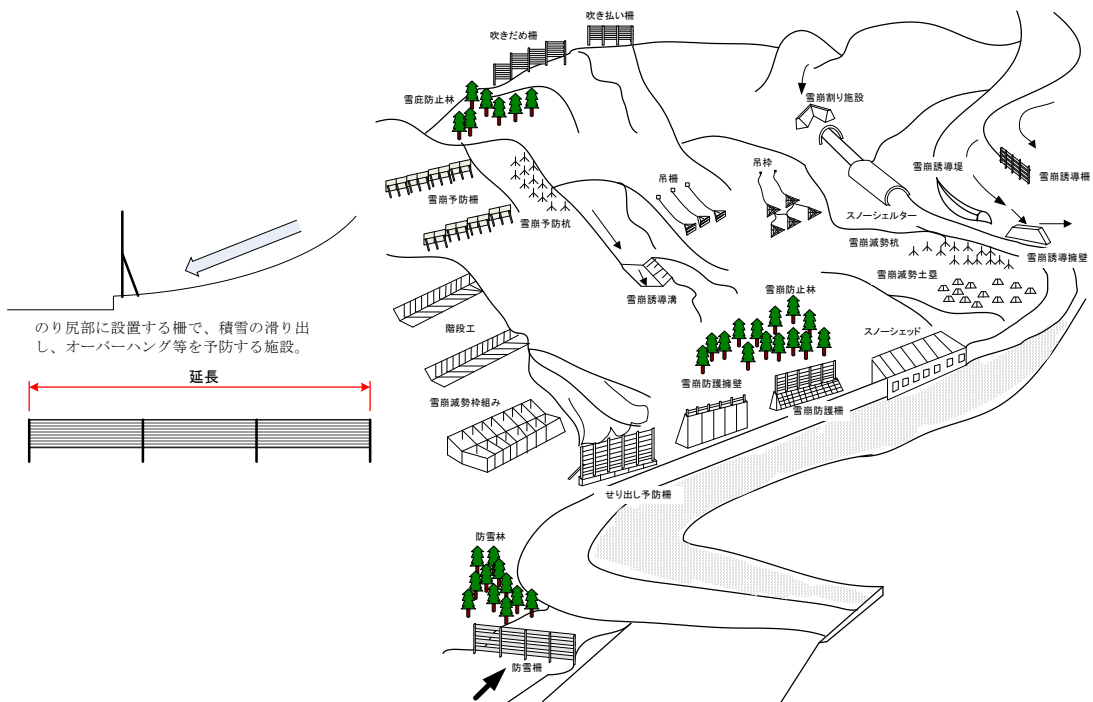
(14) 【削除】

(15) 設置高さ

当該せり出し防止柵の設置高さ (m) を入力する。

(16) 延長

当該せり出し防止柵の設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(17) 【削除】

(18) 【削除】

(19) 【削除】

(20) 基礎工形式

当該せり出し防止柵の基礎工形式 (土中埋込式、コンクリート基礎等) をコードより選択し入力する。

(21) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(22) 補修内容

当該せり出し防止柵の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(23) 契約番号

当該せり出し防止柵を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-28 防雪柵・防風柵・地吹雪防止柵

防雪柵・防風柵・地吹雪防止柵（以下「防雪柵等」という）の設置位置、延長をデータ入力するものである。

(1) 支社局

当該防雪柵等を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該防雪柵等を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該防雪柵等が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC（自）

当該防雪柵等が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC（至）

当該防雪柵等が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該防雪柵等が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該防雪柵等が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該防雪柵等が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該防雪柵等が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該防雪柵等が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該防雪柵等が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該防雪柵等のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

当該防雪柵等の設置位置を、同一の設置高さが連続する区間毎に、高速道路の測点で示すものである。測点は、同一防雪柵等が連続する区間の端部とする。建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該防雪柵等の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該防雪柵等の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該防雪柵等が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該防雪柵等がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該防雪柵等がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該防雪柵等の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該防雪柵等の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該防雪柵等が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該防雪柵等がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該防雪柵等がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

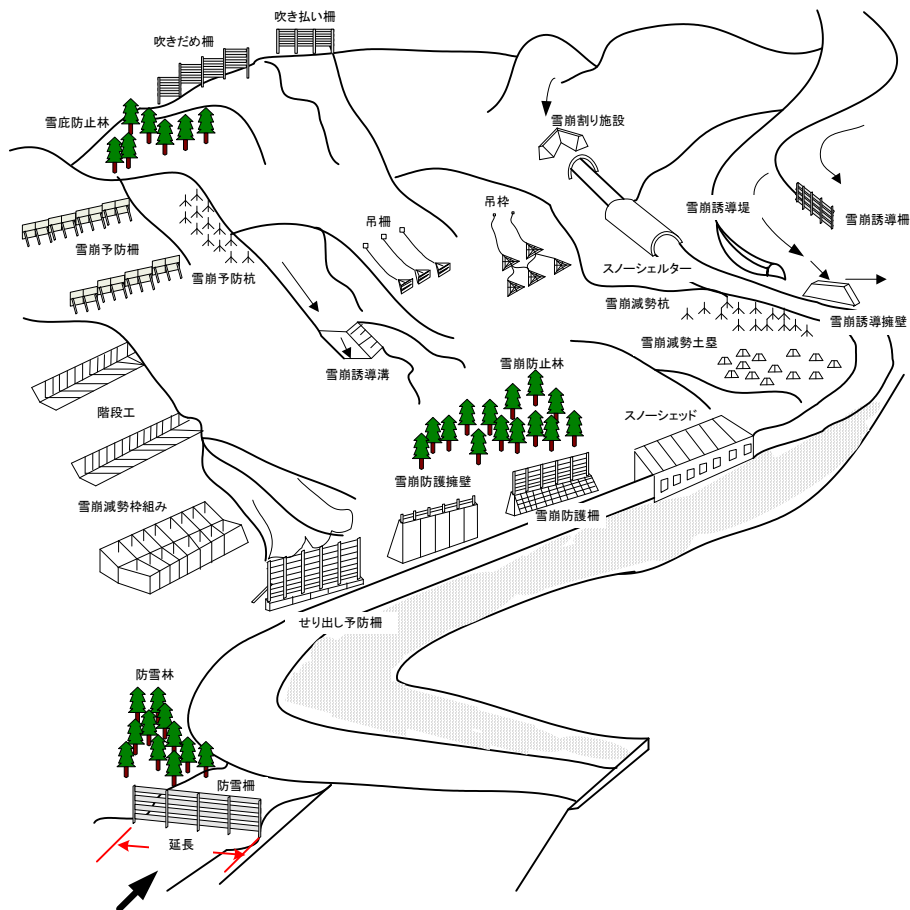
(14) 【削除】

(15) 設置高さ

当該防雪柵等の設置高さ (m) を入力する。

(16) 延長

当該防雪柵等の設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(17) 種別

当該防雪柵等の種別 (防雪柵、防風柵、地吹雪防止柵) をコードより選択し入力する。

(18) 【削除】

(19) 【削除】

(20) 基礎工形式

当該防雪柵等の基礎工形式 (土中埋込式、コンクリート基礎等) をコードより選択し入力する。

- (21) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。

- (22) 補修内容
当該防雪柵等の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

- (23) 契約番号
当該防雪柵等を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-29 吊柵

吊柵の設置位置、延長をデータ入力するものである。

- (1) 支社局
当該吊柵を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該吊柵を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該吊柵が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC（自）
当該吊柵が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC（至）
当該吊柵が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該吊柵が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該吊柵が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該吊柵が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該吊柵が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 連絡施設
当該吊柵が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。
- (11) 休憩等施設
当該吊柵が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該吊柵のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

当該吊柵の設置位置を、同一の設置高さが連続する区間毎に、高速道路の測点で示すものである。測点は、同一吊柵が連続する区間の端部とする。建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該吊柵の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該吊柵の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該吊柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該吊柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該吊柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該吊柵の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該吊柵の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該吊柵が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該吊柵がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該吊柵がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

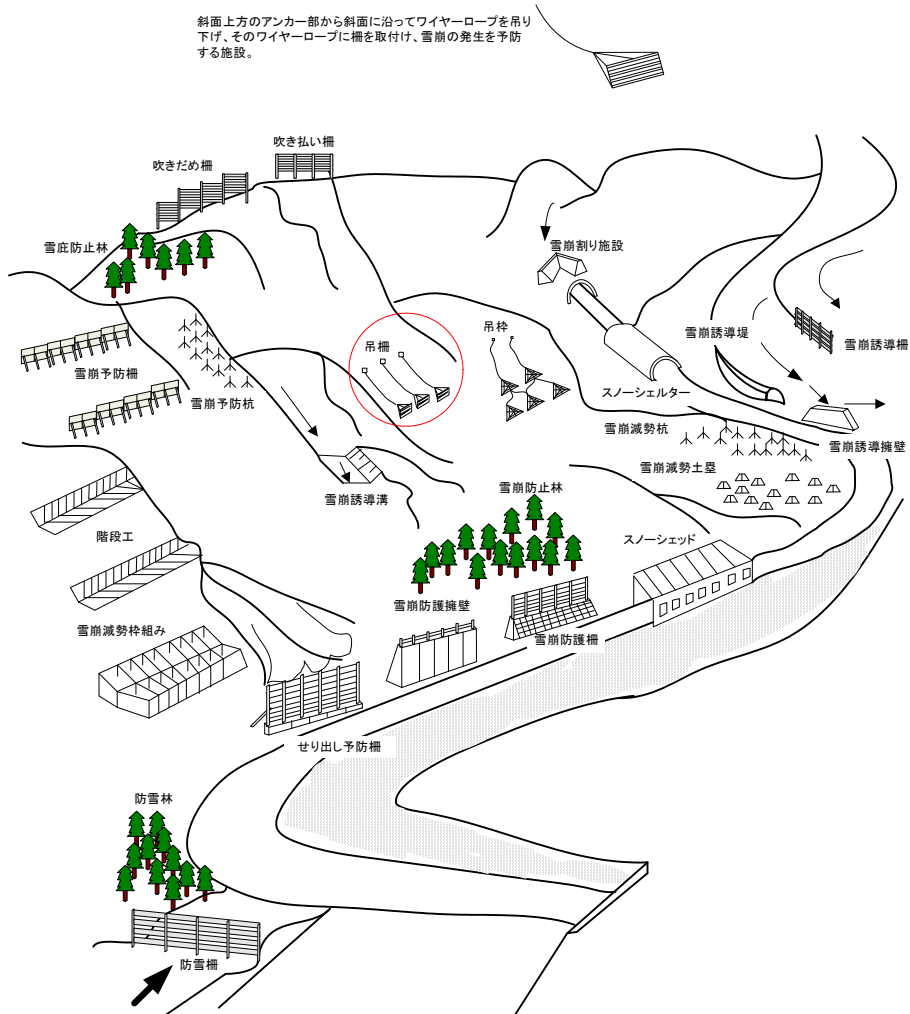
(14) 【削除】

(15) 設置高さ

当該吊柵の設置高さ (m) を入力する。

(16) 延長

当該吊柵の設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(17) 【削除】

(18) 【削除】

(19) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(20) 補修内容

当該吊柵の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(21) 契約番号

当該吊柵を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-30 防球ネット（覆式）

防球ネット（覆式）の設置位置、延長をデータ入力するものである。

(1) 支社局

当該防球ネット（覆式）を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該防球ネット（覆式）を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該防球ネット（覆式）が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC（自）

当該防球ネット（覆式）が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC（至）

当該防球ネット（覆式）が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該防球ネット（覆式）が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該防球ネット（覆式）が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該防球ネット（覆式）が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該防球ネット（覆式）が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該防球ネット（覆式）が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該防球ネット（覆式）が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該防球ネット（覆式）の作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

防球ネット（覆式）の測点は、同一分類が連続する区間毎に示すものである。測点は、同一防球ネット（覆式）が連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該防球ネット（覆式）の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該防球ネット（覆式）の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該防球ネット（覆式）が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該防球ネット（覆式）がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該防球ネット（覆式）がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該防球ネット（覆式）の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該防球ネット（覆式）の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該防球ネット（覆式）が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該防球ネット（覆式）がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO (至)

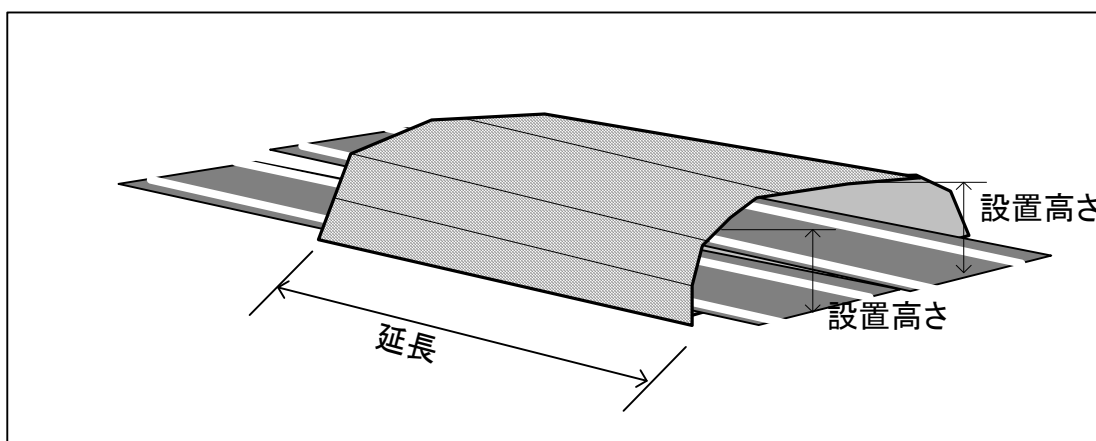
当該防球ネット（覆式）がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(14) 【削除】

(15) 【削除】

(16) 延長

当該防球ネット（覆式）の設置又は補修実延長（m）を入力する。



(17) 設置高さ

当該防球ネット（覆式）の設置高さ（m）を入力する。測定位置は車道部とし上下線共有で高さが異なる場合は、低い方を入力する。

(18) 【削除】

(19) 【削除】

(20) 基礎工形式

当該防球ネット（覆式）の基礎工形式（コンクリート基礎、杭基礎、その他）をコードより選択し入力する。

(21) 【削除】

(22) 【削除】

(23) 【削除】

- (24) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。

- (25) 補修内容
当該防球ネット（覆式）の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

- (26) 契約番号
当該防球ネット（覆式）を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-31 防球ネット（フェンス式）

防球ネット（フェンス式）の設置位置、延長をデータ入力するものである。

(1) 支社局

当該防球ネット（フェンス式）を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該防球ネット（フェンス式）を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該防球ネット（フェンス式）が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC（自）

当該防球ネット（フェンス式）が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC（至）

当該防球ネット（フェンス式）が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該防球ネット（フェンス式）が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該防球ネット（フェンス式）が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該防球ネット（フェンス式）が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該防球ネット（フェンス式）が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該防球ネット（フェンス式）が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該防球ネット（フェンス式）が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該防球ネット（フェンス式）の作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

防球ネットの測点は、同一高さが連続する区間毎に示すものである。測点は、同一防球ネット（フェンス式）が連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該防球ネット（フェンス式）の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該防球ネット（フェンス式）の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該防球ネット（フェンス式）が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該防球ネット（フェンス式）がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該防球ネット（フェンス式）がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該防球ネット（フェンス式）の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該防球ネット（フェンス式）の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該防球ネット（フェンス式）が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 管理_NO (自)

当該防球ネット (フェンス式) がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO (至)

当該防球ネット (フェンス式) がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(14) 設置高さ

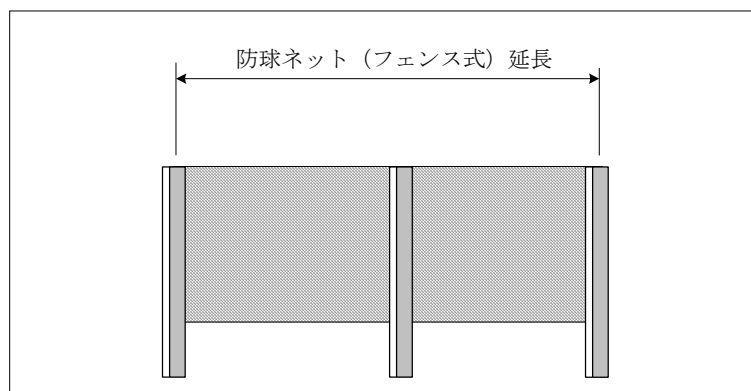
当該防球ネット (フェンス式) の設置高さ (m) を入力する。

(15) 【削除】

(16) 【削除】

(17) 延長

当該防球ネット (フェンス式) の設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(18) 【削除】

(19) 基礎工形式

当該防球ネット (フェンス式) の基礎工形式 (コンクリート基礎、杭基礎、その他) をコードより選択し入力する。

(20) 【削除】

(21) 【削除】

(22) 【削除】

- (23) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。

- (24) 補修内容
当該防球ネット（フェンス式）の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

- (25) 契約番号
当該防球ネット（フェンス式）を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-32 目隠し板

目隠し板の設置位置、延長をデータ入力するものである。ただし、仮設を含まず、常設のものを対象とする。

(1) 支社局

当該目隠し板を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該目隠し板を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該目隠し板が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該目隠し板が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC (至)

当該目隠し板が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該目隠し板が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該目隠し板が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該目隠し板が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該目隠し板が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該目隠し板が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該目隠し板が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該目隠し板の作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。
番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

目隠し板の測点は、同一分類が連続する区間毎に示すものである。測点は、同一目隠し板が連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該目隠し板の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該目隠し板の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該目隠し板が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該目隠し板がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該目隠し板がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該目隠し板の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該目隠し板の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該目隠し板が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該目隠し板がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該目隠し板がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(14) 【削除】

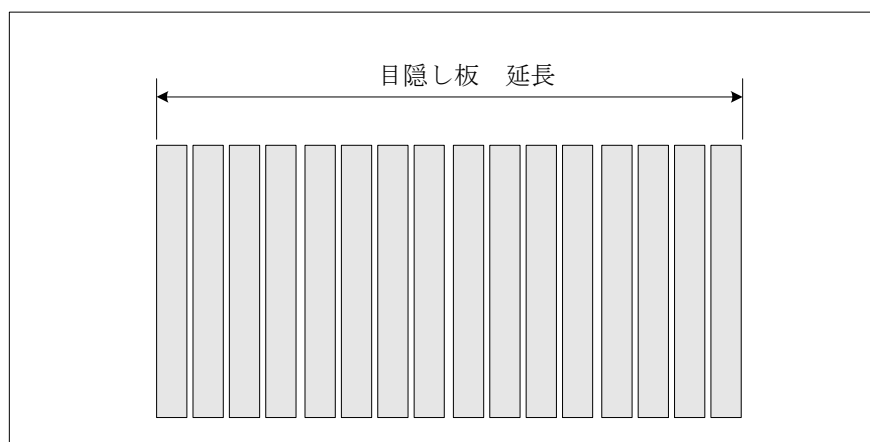
(15) 【削除】

(16) 設置高さ

当該目隠し板の設置高さ (m) を入力する。

(17) 延長

当該目隠し板の設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(18) 基礎工形式

当該目隠し板の基礎工形式 (コンクリート基礎、土中埋込式等) をコードより選択し入力する。

(19) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(20) 補修内容

当該目隠し板の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(21) 契約番号

当該目隠し板を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-33 雪氷 U ターン路開口部扉

雪氷 U ターン路開口部扉の設置位置、分類をデータ入力するものである。

- (1) 支社局
当該雪氷 U ターン路開口部扉を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該雪氷 U ターン路開口部扉を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該雪氷 U ターン路開口部扉が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該雪氷 U ターン路開口部扉が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該雪氷 U ターン路開口部扉が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該雪氷 U ターン路開口部扉が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該雪氷 U ターン路開口部扉が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該雪氷 U ターン路開口部扉が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該雪氷 U ターン路開口部扉が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 連絡施設
当該雪氷 U ターン路開口部扉が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該雪氷 U ターン路開口部扉が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該雪氷 U ターン路開口部扉の作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

雪氷 U ターン路開口部扉の中心を測点とし設置位置を示すものとする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA

当該雪氷 U ターン路開口部扉の設置位置を入力する。

(イ) 建設_ランプ名

当該雪氷 U ターン路開口部扉が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 建設_NO

当該雪氷 U ターン路開口部扉がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP

当該雪氷 U ターン路開口部扉の設置位置を入力する。

(イ) 管理_ランプ名

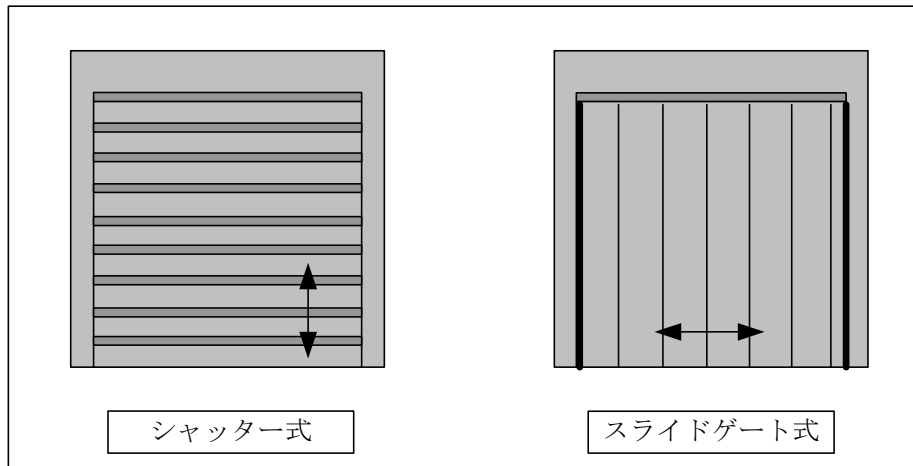
当該雪氷 U ターン路開口部扉が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 管理_NO

当該雪氷 U ターン路開口部扉がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(14) 分類

当該雪氷 U ターン路開口部扉の分類（シャッター式・スライドゲート式等）をコードより選択し入力するものである。



(15) 【削除】

(16) 【削除】

(17) 【削除】

(18) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(19) 補修内容

当該雪氷 U ターン路開口部扉の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(20) 契約番号

当該雪氷 U ターン路開口部扉を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-34 突堤、栈橋

突堤または栈橋の設置位置、延長をデータ入力するものである。

(1) 支社局

当該突堤または栈橋を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該突堤または栈橋を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該突堤または栈橋が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該突堤または栈橋が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC (至)

当該突堤または栈橋が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該突堤または栈橋が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該突堤または栈橋が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該突堤または栈橋が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該突堤または栈橋が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該突堤または栈橋が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該突堤または栈橋が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 種別

当該構造物の種別（突堤、栈橋）をコードから選択し入力する。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

突堤または栈橋と護岸の取付部中心を測点とし設置位置を示すものとする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA

当該突堤または栈橋の設置位置を入力する。

(イ) 建設_ランプ名

当該突堤または栈橋が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(ウ) 建設_NO

当該突堤または栈橋がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP

当該突堤または栈橋の設置位置を入力する。

(イ) 管理_ランプ名

当該突堤または栈橋が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

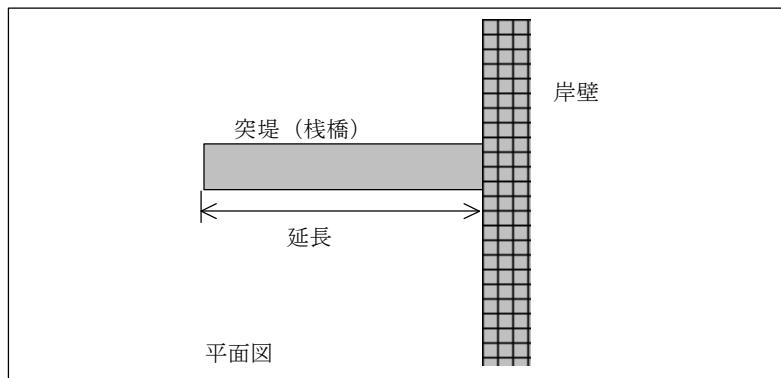
(ウ) 管理_NO

当該突堤または栈橋がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(14) 【削除】

(15) 延長

当該突堤または栈橋の延長 (m) を入力する。



(16) 【削除】

(17) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(18) 補修内容

当該突堤の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(19) 契約番号

当該突堤を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-35 砂防堰堤

砂防堰堤の設置位置、延長等をデータ入力するものである。

- (1) 支社局
当該砂防堰堤を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該砂防堰堤を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該砂防堰堤が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC（自）
当該砂防堰堤が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC（至）
当該砂防堰堤が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該砂防堰堤が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該砂防堰堤が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該砂防堰堤が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該砂防堰堤が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 連絡施設
当該砂防堰堤が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。
- (11) 休憩等施設
当該砂防堰堤が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 管理番号

当該砂防堰堤の管理番号を 1IC 間毎にユニーク（重複しない）となる番号を付与する。
付与番号は、1 から順に連続する番号とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

当該砂防堰堤の設置位置を、高速道路の測点で示すものである。測点は、砂防堰堤の中心とし、自）、至）とも同じ測点を入力する。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該砂防堰堤の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該砂防堰堤の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該砂防堰堤が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該砂防堰堤がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該砂防堰堤がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該砂防堰堤の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該砂防堰堤の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該砂防堰堤が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該砂防堰堤がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該砂防堰堤がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

- (14) 【削除】
- (15) 箇所数
当該砂防堰堤の数量（固定値 1）を入力する。。
- (16) 【削除】
- (17) 設置長さ
当該砂防堰堤の設置長さ（m）を入力する。
- (18) 設置高さ
当該砂防堰堤の設置高さ（m）を入力する。
- (19) 【削除】
- (20) 【削除】
- (21) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。
- (22) 補修内容
当該砂防堰堤の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。
- (23) 契約番号
当該砂防堰堤を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-36 ロックシェッド・スノーシェッド

ロックシェッド・スノーシェッド（以下「シェッド」という）の設置位置、延長をデータ入力するものである。

(1) 支社局

当該シェッドを管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該シェッドを管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該シェッドが、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) トンネル

当該シェッドにトンネル名が付与されている場合は、対象となるコードを選択して入力する。

(5) IC（自）

当該シェッドが、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) IC（至）

当該シェッドが、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(7) 上下線区分

当該シェッドが、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(8) ルート区分

当該シェッドが、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(9) 完成暫定区分

当該シェッドが、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(10) 設置箇所

当該シェッドが、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(11) 連絡施設

当該シェッドが IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(12) 休憩等施設

当該シェッドが SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(13) 番号

当該シェッドの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(14) STA・KP・NO の測点作成方法

シェッドの種別が連続する区間毎に、位置を示すものである。測点は、同一シェッドが連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該シェッドの起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該シェッドの終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該シェッドが存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該シェッドがランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該シェッドがランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該シェッドの起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該シェッドの終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該シェッドが存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該シェッドがランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO (至)

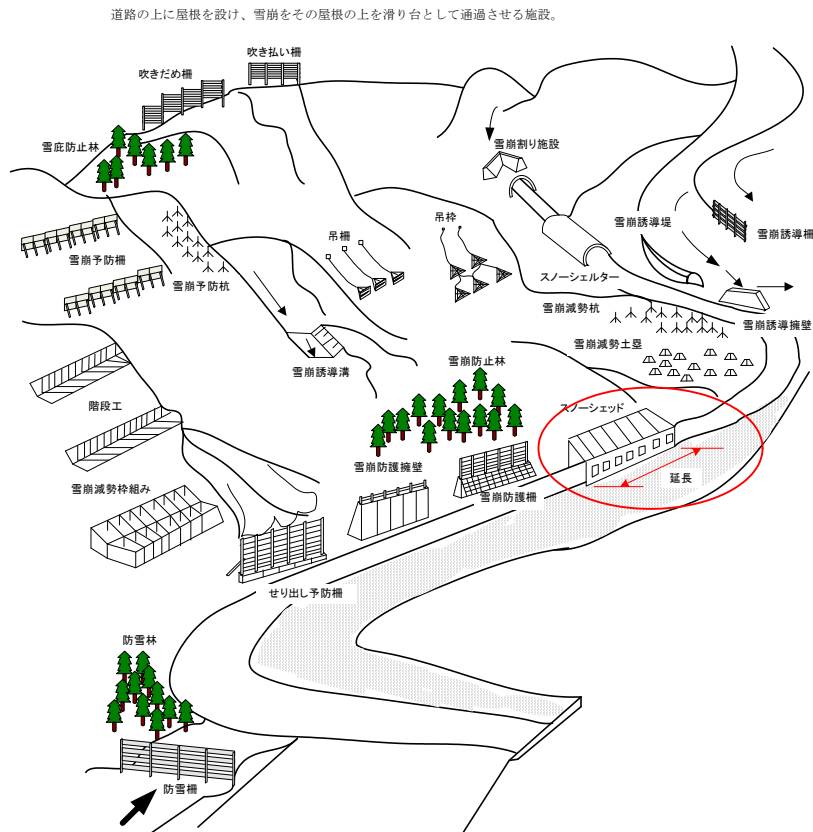
当該シェッドがランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(15) 種別

当該シェッドの種別 (ロックシェッド、スノーシェッド) をコードより選択し入力する。

(16) 延長

当該シェッドの設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(17) 【削除】

(18) 【削除】

(19) 【削除】

(20) 【削除】

(21) 谷側基礎工形式

当該シェッドの谷側基礎工の形式 (H形鋼、鋼管等) をコードより選択し入力する。

(22) 山側基礎工形式

当該シェットの山側基礎工の形式（コンクリート基礎、高欄取付基礎、その他）をコードより選択し入力する。

(23) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(24) 補修内容

当該シェットの設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(25) 契約番号

当該シェットを施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-37 スノーシェルター

スノーシェルターの設置位置、延長をデータ入力するものである。

(1) 支社局

当該スノーシェルターを管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該スノーシェルターを管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該スノーシェルターが、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) トンネル

当該スノーシェルターにトンネル名が付与されている場合は、対象となるコードを選択して入力する。

(5) IC (自)

当該スノーシェルターが、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) IC (至)

当該スノーシェルターが、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(7) 上下線区分

当該スノーシェルターが、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(8) ルート区分

当該スノーシェルターが、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(9) 完成暫定区分

当該スノーシェルターが、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(10) 設置箇所

当該スノーシェルターが、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(11) 連絡施設

当該スノーシェルターが IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(12) 休憩等施設

当該スノーシェルターが SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(13) 番号

当該スノーシェルターの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(14) STA・KP・NO の測点作成方法

スノーシェルターの種別が連続する区間毎に、位置を示すものである。測点は、同一スノーシェルターの種別が連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該スノーシェルターの起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該スノーシェルターの終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該スノーシェルターが存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該スノーシェルターがランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該スノーシェルターがランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該スノーシェルターの起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該スノーシェルターの終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該スノーシェルターが存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(エ) 管理_NO (自)

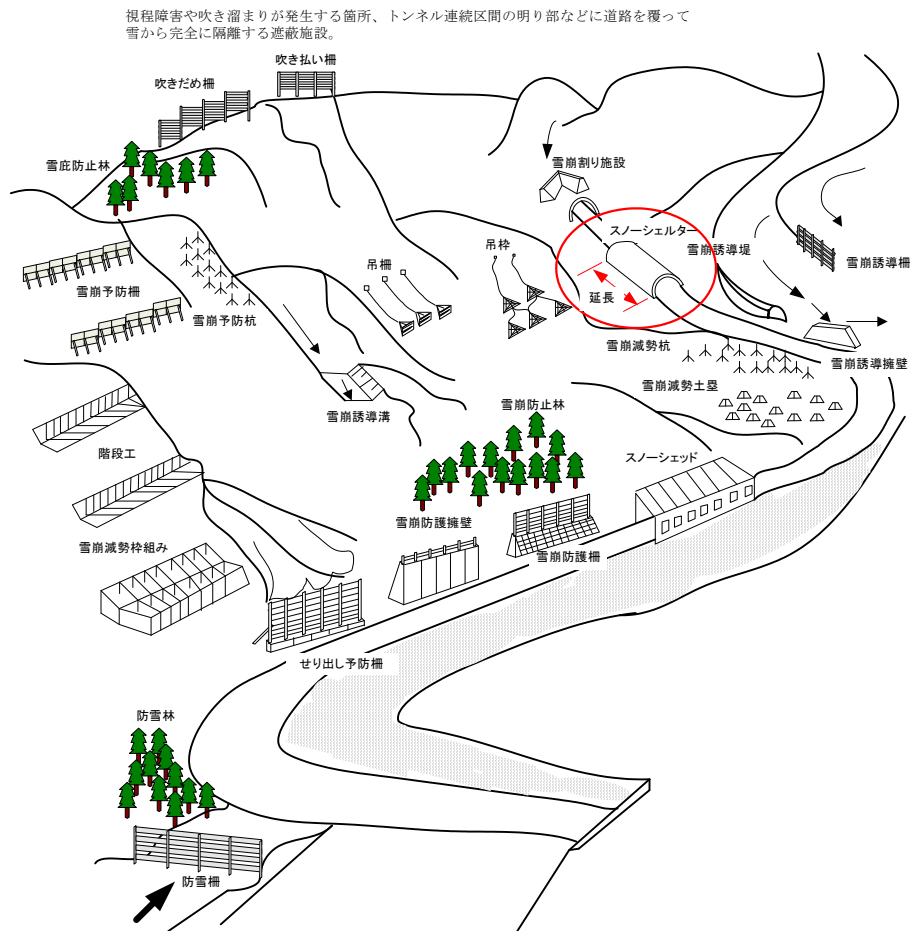
当該スノーシェルターがランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO (至)

当該スノーシェルターがランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(15) 延長

当該スノーシェルターの設置又は補修実延長 (m) を入力する。



(16) 【削除】

(17) 【削除】

(18) 【削除】

(19) 基礎工形式

当該スノーシェルターの基礎工形式（コンクリート基礎、高欄取付基礎、その他）をコードより選択し入力する。

(20) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(21) 補修内容

当該スノーシェルターの設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(22) 契約番号

当該スノーシェルターを施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-38 雪崩誘導溝

雪崩誘導溝の設置位置、延長をデータ入力するものである。雪崩誘導溝とは、雪崩を保護対象などに支障のない方向に導く水路状の溝である。

(1) 支社局

当該雪崩誘導溝を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該雪崩誘導溝を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該雪崩誘導溝が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該雪崩誘導溝が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC (至)

当該雪崩誘導溝が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該雪崩誘導溝が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該雪崩誘導溝が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該雪崩誘導溝が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該雪崩誘導溝が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該雪崩誘導溝が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該雪崩誘導溝が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該雪崩誘導溝の作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

雪崩誘導溝の測点は、同一分類が連続する区間毎の端部を高速道路の測点で示すものである。建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該雪崩誘導溝の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該雪崩誘導溝の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該雪崩誘導溝が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該雪崩誘導溝がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該雪崩誘導溝がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該雪崩誘導溝の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該雪崩誘導溝の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該雪崩誘導溝が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該雪崩誘導溝がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

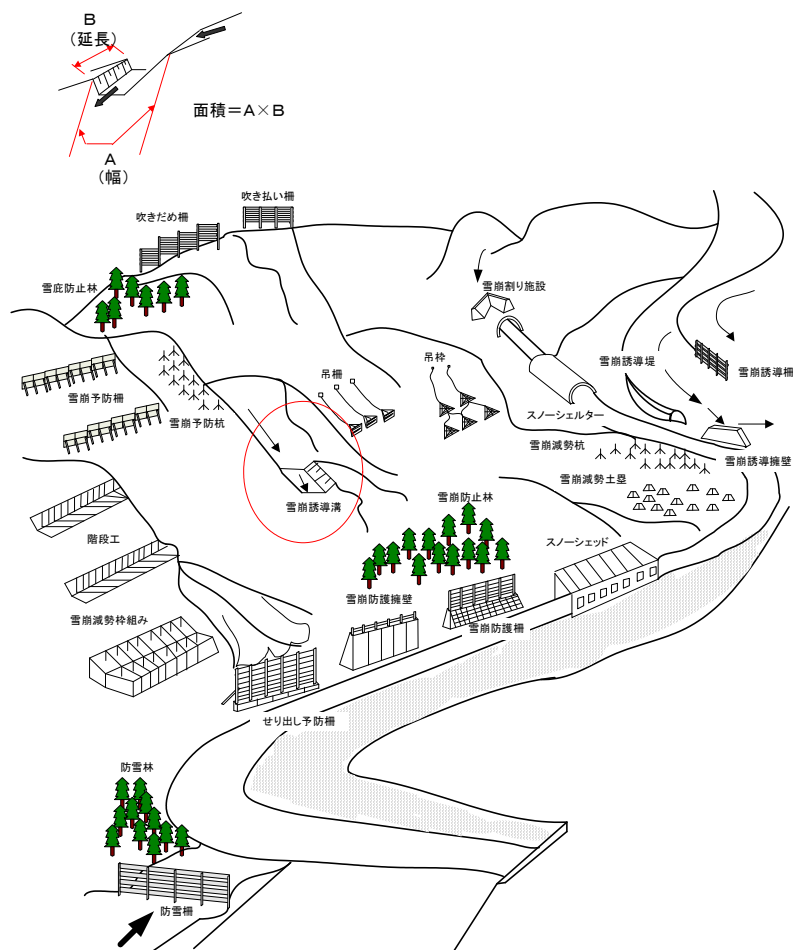
当該雪崩誘導溝がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(14) 【削除】

(15) 【削除】

(16) 延長

当該雪崩誘導溝の延長 (m) を入力する。



(17) 【削除】

(18) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(19) 補修内容

当該雪崩誘導溝の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(20) 契約番号

当該雪崩誘導溝を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-39 雪崩誘導堤・雪崩防護擁壁

雪崩誘導堤・雪崩防護擁壁（以下「雪崩施設」という）のうちコンクリート造若しくは鉄筋コンクリート造のものについて、設置位置・延長等をデータ入力するものである。

(1) 支社局

当該雪崩施設を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該雪崩施設を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該雪崩施設が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC（自）

当該雪崩施設が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC（至）

当該雪崩施設が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該雪崩施設が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該雪崩施設が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該雪崩施設が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該雪崩施設が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該雪崩施設が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該雪崩施設が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該雪崩施設の作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。
番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

当該雪崩施設の設置位置を、同一種別が連続する区間毎に、高速道路の測点で示すものである。測点は、同一雪崩施設が連続する区間の端部とする。建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該雪崩施設の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該雪崩施設の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該雪崩施設が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該雪崩施設がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該雪崩施設がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該雪崩施設の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該雪崩施設の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該雪崩施設が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該雪崩施設がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該雪崩施設がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(14) 【削除】

(15) 種別

当該雪崩施設の種別（雪崩誘導堤、雪崩防護擁壁）をコードより選択し入力する。

(16) 延長

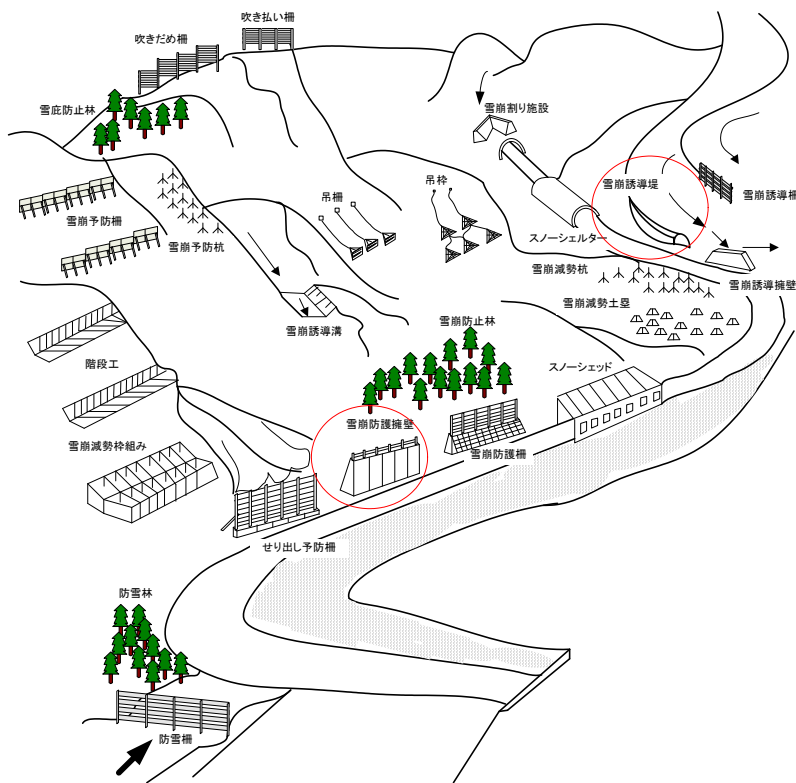
当該雪崩施設における雪崩誘導方向または雪崩防護方向の施工延長（m）を入力する。

(17) 【削除】

(18) 設置高さ

当該雪崩施設の高さ(m)を入力する。起点側と終点側の高さが異なる場合は、平均高さ(m)を入力する。

雪崩を壁に斜め方向から衝突させて、進路を変える施設。



(19) 【削除】

(20) 【削除】

(21) 【削除】

(22) 【削除】

第 17 編 土木その他構築物

(23) 【削除】

(24) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(25) 補修内容

当該雪崩施設の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(26) 契約番号

当該雪崩施設を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-40 吊枠

吊枠の設置位置と数量をデータ入力するものである。

- (1) 支社局
当該吊枠を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該吊枠を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該吊枠が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC（自）
当該吊枠が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC（至）
当該吊枠が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該吊枠が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該吊枠が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該吊枠が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該吊枠が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択して入力する。
- (10) 連絡施設
当該吊枠が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。
- (11) 休憩等施設
当該吊枠が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該吊枠の作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

吊枠の設置位置は、同一分類が集中する区間毎の端部を高速道路の測点で示すものである。建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該吊枠の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該吊枠の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該吊枠が存在するランプ名称を A, B, C, D・……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該吊枠がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該吊枠がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該吊枠の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該吊枠の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該吊枠が存在するランプ名称を A, B, C, D・……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該吊枠がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

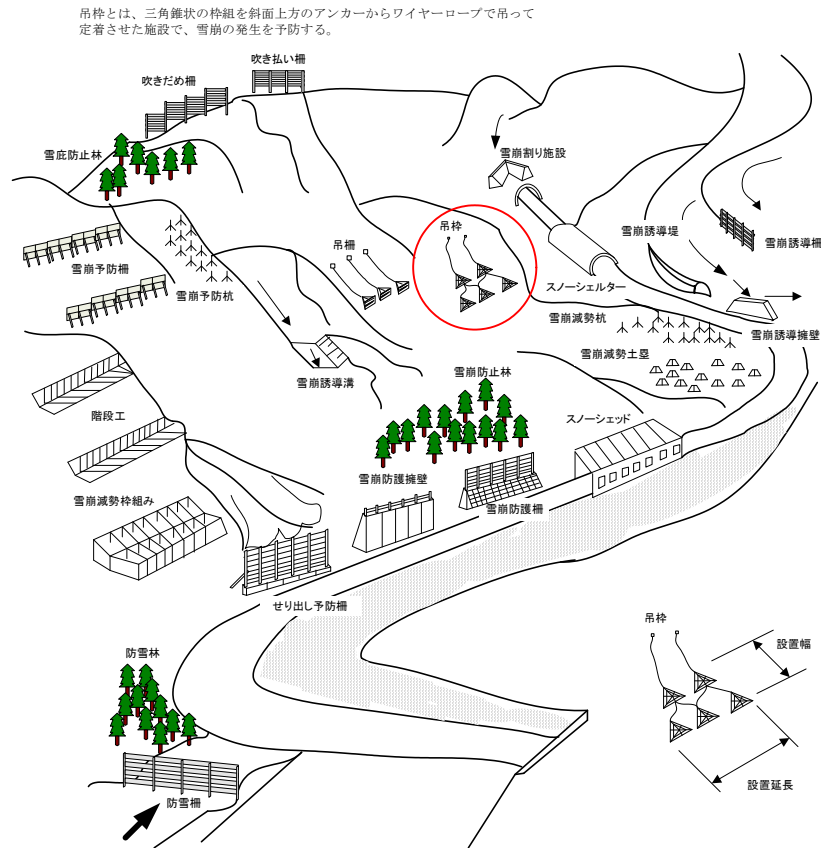
当該吊枠がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(14) 【削除】

(15) 【削除】

(16) 設置延長

当該吊枠の本線方向の設置延長 (m) を入力する。



(17) 【削除】

(18) 設置高

当該吊枠の斜面に対して垂直方向の設置高さ (m) を入力する。

(19) 【削除】

(20) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(21) 補修内容

当該吊枠の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

第 17 編 土木その他構築物

(22) 契約番号

当該吊枠を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-41 雪崩割り施設

雪崩割り施設の設置位置、基数をデータ入力するものである。

- (1) 支社局
当該雪崩割り施設を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該雪崩割り施設を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該雪崩割り施設が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC（自）
当該雪崩割り施設が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC（至）
当該雪崩割り施設が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該雪崩割り施設が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該雪崩割り施設が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該雪崩割り施設が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該雪崩割り施設が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 連絡施設
当該雪崩割り施設が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該雪崩割り施設が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) トンネル

当該雪崩割り施設がトンネルの坑口上部に設置されているものであれば、トンネルの名称をコードから選択して入力する。

(13) 番号

当該雪崩割り施設の作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(14) STA・KP・NO の測点作成方法

雪崩割り施設の測点は、同一分類が集中する区間毎の端部を高速道路の測点で示すものである。建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該雪崩割り施設の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該雪崩割り施設の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該雪崩割り施設が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該雪崩割り施設がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該雪崩割り施設がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該雪崩割り施設の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該雪崩割り施設の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該雪崩割り施設が存在するランプ名称を A, B, C, D・……で入力する。

(エ) 管理_NO (自)

当該雪崩割り施設がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

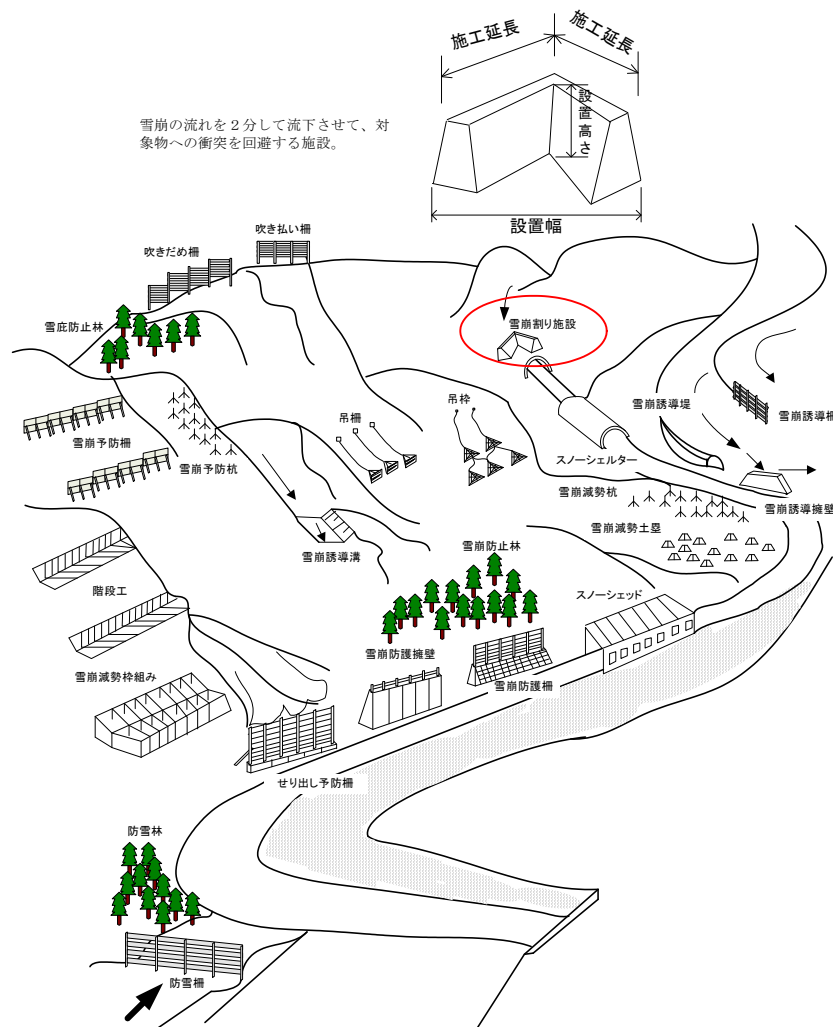
(オ) 管理_NO (至)

当該雪崩割り施設がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(15) 【削除】

(16) 延長

当該雪崩割り施設の施工延長 (m) を入力する。



(17) 設置高

当該雪崩割り施設の設置高さ (m) を入力する。

第 17 編 土木その他構築物

(18) 【削除】

(19) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(20) 補修内容

当該雪崩割り施設の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(21) 契約番号

当該雪崩割り施設を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-42 護岸工

護岸工の設置位置、延長をデータ入力するものである。

- (1) 支社局
当該護岸工を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該護岸工を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該護岸工が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該護岸工が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該護岸工が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該護岸工が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該護岸工が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該護岸工が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該護岸工が、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 連絡施設
当該護岸工が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。
- (11) 橋梁名
当該護岸工が、設置される橋梁名をコードから選択して入力する。

(12) 休憩等施設

当該護岸工が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

護岸工の設置位置は、連続する区間毎の端部を高速道路の測点で示すものである。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該護岸工の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該護岸工の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該護岸工が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該護岸工がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該護岸工がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該護岸工の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該護岸工の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該護岸工が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該護岸工がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該護岸工がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(14) 【削除】

- (15) 箇所数
当該護岸工が設置される箇所の数量（固定値 1）を入力する。

- (16) 【削除】

- (17) 設置又は補修年月
当該護岸工の設置又は補修年月を入力する。

- (18) 補修内容
当該護岸工の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

- (19) 契約番号
当該護岸工を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-43 消波ブロック

消波ブロックの設置範囲をデータ入力するものである。なお、橋梁下部工を防護するために設置された消波ブロックの場合は、橋梁名単位でデータを入力する。

(1) 支社局

当該消波ブロックを管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該消波ブロックを管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該消波ブロックが、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該消波ブロックが、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC (至)

当該消波ブロックが、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該消波ブロックが、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該消波ブロックが、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該消波ブロックが、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該消波ブロックが、主に保護対象とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該消波ブロックが IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該消波ブロックが SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 橋梁名

当該消波ブロックが、設置される橋梁名をコードから選択して入力する。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

消波ブロックの測点は、同一分類が集中する区間毎の端部を高速道路の測点で示すものである。建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該消波ブロックの起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該消波ブロックの終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該消波ブロックが存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該消波ブロックがランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該消波ブロックがランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該消波ブロックの起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該消波ブロックの終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該消波ブロックが存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該消波ブロックがランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該消波ブロックがランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

第 17 編 土木その他構築物

(14) 【削除】

(15) 【削除】

(16) 【削除】

(17) 【削除】

(18) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。

(19) 補修内容
当該消波ブロックの設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(20) 契約番号
当該消波ブロックを施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-44 調整池・用水池

調整池・用水池（以下「調整池等」という）の設置範囲をデータ入力するものである。

- (1) 支社局
当該調整池等を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該調整池等を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該調整池等が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC（自）
当該調整池等が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC（至）
当該調整池等が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該調整池等が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該調整池等が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該調整池等が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該調整池等が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 連絡施設
当該調整池等が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。
- (11) 休憩等施設
当該調整池等が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該調整池等のデータの作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

調整池等の設置位置は、高速道路の測点で示すものである。調整池等は機能単位で 1 箇所とし、複数の池で 1 つの調整池等として機能する場合はこれら全てを合わせて 1 箇所とする。測点は、この 1 箇所の範囲毎の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該調整池等の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該調整池等の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該調整池等が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該調整池等がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該調整池等がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該調整池等の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該調整池等の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該調整池等が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該調整池等がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該調整池等がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

- (14) 種別
当該調整池等の種別（調整池、用水池）をコードより選択し入力する。
- (15) 【削除】
- (16) 箇所数
当該調整池等が設置される箇所の数量（固定値 1）を入力する。
- (17) 【削除】
- (18) 設置又は補修年月
設置又は補修年月を入力する。
- (19) 補修内容
当該調整池等の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。
- (20) 契約番号
当該調整池等を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-45 ブイ（灯標）

ブイ（灯標）の位置のデータを入力するものである。

(1) 支社局

当該ブイ（灯標）を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該ブイ（灯標）を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該ブイ（灯標）が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC（自）

当該ブイ（灯標）が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC（至）

当該ブイ（灯標）が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該ブイ（灯標）が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該ブイ（灯標）が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該ブイ（灯標）が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該ブイ（灯標）が、主に指標とする箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該ブイ（灯標）が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該ブイ（灯標）が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該ブイ（灯標）の作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

ブイ（灯標）の測点は、同一分類が集中する区間毎の端部を高速道路の測点で示すものである。測点は、ブイ（灯標）の設置範囲の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該ブイ（灯標）の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該ブイ（灯標）の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該ブイ（灯標）が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・・で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該ブイ（灯標）がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該ブイ（灯標）がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該ブイ（灯標）の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該ブイ（灯標）の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該ブイ（灯標）が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・・で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該ブイ（灯標）がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該ブイ（灯標）がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(14) 【削除】

(15) 基数

当該ブイ（灯標）の総数量（基）を入力する。

(16) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(17) 補修内容

当該ブイ（灯標）の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(18) 契約番号

当該ブイ（灯標）を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-46 横断歩道橋

横断歩道橋の位置や延長等のデータを入力するものである。

- (1) 支社局
当該横断歩道橋を管理する支社局名をコードから選択して入力する。
- (2) 事務所
当該横断歩道橋を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。
- (3) 道路
当該横断歩道橋が、存在する道路名をコードから選択して入力する。
- (4) IC (自)
当該横断歩道橋が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (5) IC (至)
当該横断歩道橋が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。
- (6) 上下線区分
当該横断歩道橋が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。
- (7) ルート区分
当該横断歩道橋が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。
- (8) 完成暫定区分
当該横断歩道橋が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。
- (9) 設置箇所
当該横断歩道橋が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。
- (10) 連絡施設
当該横断歩道橋が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。
- (11) 休憩等施設
当該横断歩道橋が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 番号

当該横断歩道橋の作成単位毎に起点側からユニーク（重複しない）となる番号を付与する。番号の付与方法は、1 からの連番とする。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

横断歩道橋の設置位置を高速道路の測点で示すものである。測点は、横断歩道橋の中心とし設置位置を示すものとする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA

当該横断歩道橋の設置位置を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_ランプ名

当該横断歩道橋が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(ウ) 建設_NO

当該横断歩道橋がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該横断歩道橋の設置位置を入力する。

(イ) 管理_ランプ名

当該横断歩道橋が存在するランプ名称を A, B, C, D, ……で入力する。

(ウ) 管理_NO（自）

当該横断歩道橋がランプに隣接する場合において設置位置を入力する。

(14) 【削除】

(15) 総延長

当該横断歩道橋の総設置延長（m）を入力する。

(16) 【削除】

(17) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(18) 補修内容

当該横断歩道橋の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(19) 契約番号

当該横断歩道橋を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-47 距離標

本線, ランプ, IC 等に施工した距離標に関するデータを 1IC 区間別、種別毎に入力するものである。

(1) 支社局

当該距離標を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該距離標を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該距離標が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該距離標が存在する 1IC 区間の起点側 IC をコードから選択して入力する。

(5) IC (至)

当該距離標が存在する 1IC 区間の終点側 IC をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該距離標が存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

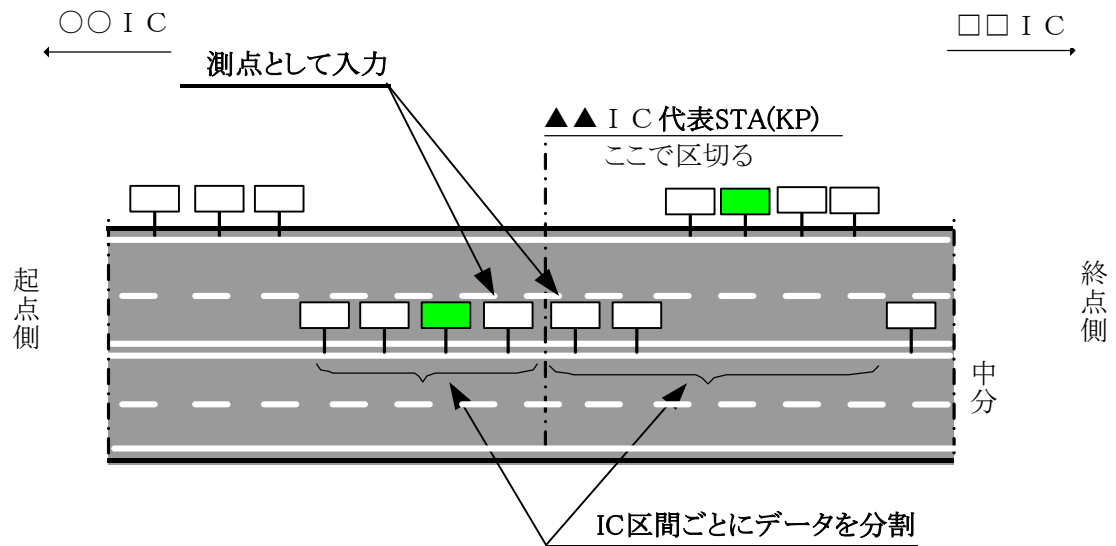
当該距離標が存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該距離標が存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) STA・KP・NO の測点作成方法

本線に設置される距離標の測点は、IC の代表測点により、1IC 区間を単位として作成するものとし、IC の代表測点を挟んで前 IC 間から引き続き設置される場合、IC の代表測点により、IC 間ごとにデータを分割し（下図参照）、実施工された距離標の測点を示す。ランプに設置される距離標の測点は、ランプ名単位毎に作成するものとし、実施工された距離標の測点を示す（0 KP 標の設置が無ければ、20 KP 標が起点側測点となる）。



(a) 建設時、補修時（供用後管理段階）

測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該距離標の起点側の測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該距離標の終点側の測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ

当該距離標が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該距離標がランプに存在する場合に、起点側の測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該距離標がランプに存在する場合に、終点側の測点を入力する。

(10) 種別

当該距離標の種別をコードから選択して入力する。

IC 区間内の同一距離標種別毎に情報を取りまとめ関連する各種情報を入力する。

距離標の種別は次のとおりとする。

種 別		設置方法	備 考
名 称	種類		
50 k m ポスト標	A	土中建込み用	
10 k m ポスト標	A 1	土中建込み用	
	A 4	コンクリート壁取付用	
1 k m ポスト標	B 1	土中建込み用	
	B 2	防護さく支柱取付用	
	B 3	コンクリート壁高欄取付用	但し、現在は受注者入力出来ない
	B 4	コンクリート壁取付用	
	B 5	コンクリート壁高欄取付用	
100m ポスト標 及び 500m ポスト標	C 1	土中建込み用	
	C 2	防護さく支柱取付用	
	C 3	コンクリート壁高欄取付用	但し、現在は受注者入力出来ない
	C 4	コンクリート壁取付用	
	C 5	コンクリート壁高欄取付用	
20m ポスト標	D 1	土中建込み用	
	D 2	防護さく支柱取付用	
	D 4	コンクリート壁取付用	
その他	—	該当種別または類似種別が無い場合	

※投物防止柵および飛雪防止網等に取付けられた距離標については、防護柵支柱取付用を含むものとする。

(11) 【削除】

(12) 設置又は補修年月

当該距離標を設置又は補修した年月を西暦で入力する。(200302)

(13) 補修内容

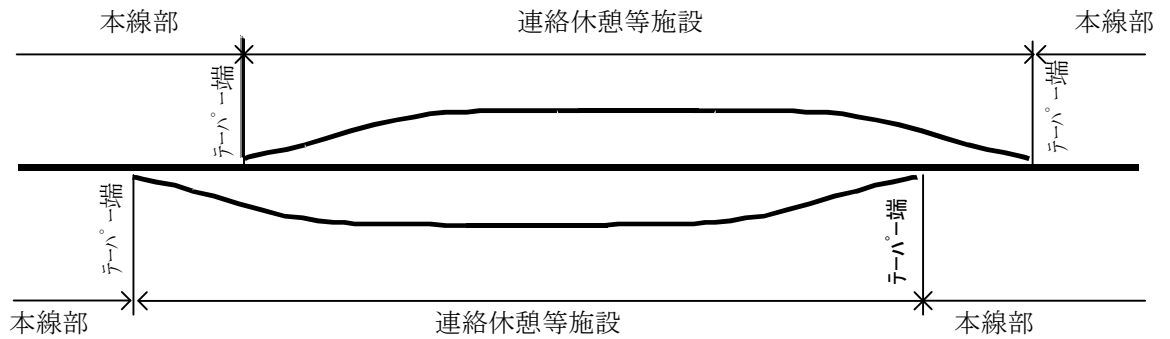
当該距離標の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(14) 設置位置

当該距離標が存在する場所区分（路肩側、中分側）をコードから選択して入力する。

(15) 設置箇所

当該距離標が存在する箇所区分（本線・IC・SA 等）をコードから選択して入力する。
本線部と連絡休憩等施設の境界は、加減速車線のテーパ端とする。



(16) 【削除】

(17) 連絡施設

当該距離標が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(18) 休憩等施設

当該距離標が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(19) 契約番号

当該距離標を施工した工事の契約番号を入力する。

2-6-48 その他排水施設

橋梁高架下および連絡等休憩施設の用・排水施設のデータを入力するものである。なお、橋梁本体の排水装置、トンネルの裏面排水施設（センタードレーン、サイドドレーン等）、盛土・切土のり面排水、路面排水（盛土、切土のり面、橋梁、トンネル）等の用・排水施設のデータは、各々対象となる工種情報から入力する。

(1) 支社局

当該排水施設を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該排水施設を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該排水施設が存在する道路の道路名をコードから選択して入力する。

(4) 設置箇所

当該排水施設が存在する箇所区分をコードから選択し入力する（本線、IC、JCT、SA 等）。
但し、橋梁高架下の場合は、本線を選択する。

(5) IC（自）

当該排水施設が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) IC（至）

当該排水施設が、存在する 1IC 区間の終点側 IC をコードから選択し入力する。

(7) 上下線区分

当該排水施設が、存在する現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(8) ルート区分

当該排水施設が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(9) 完成暫定区分

当該排水施設が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択し入力する。

(10) 【削除】

(11) 【削除】

(12) 橋梁

当該排水施設が橋梁高架下排水施設である場合、存在する橋梁コードを入力する。

(13) 連絡施設

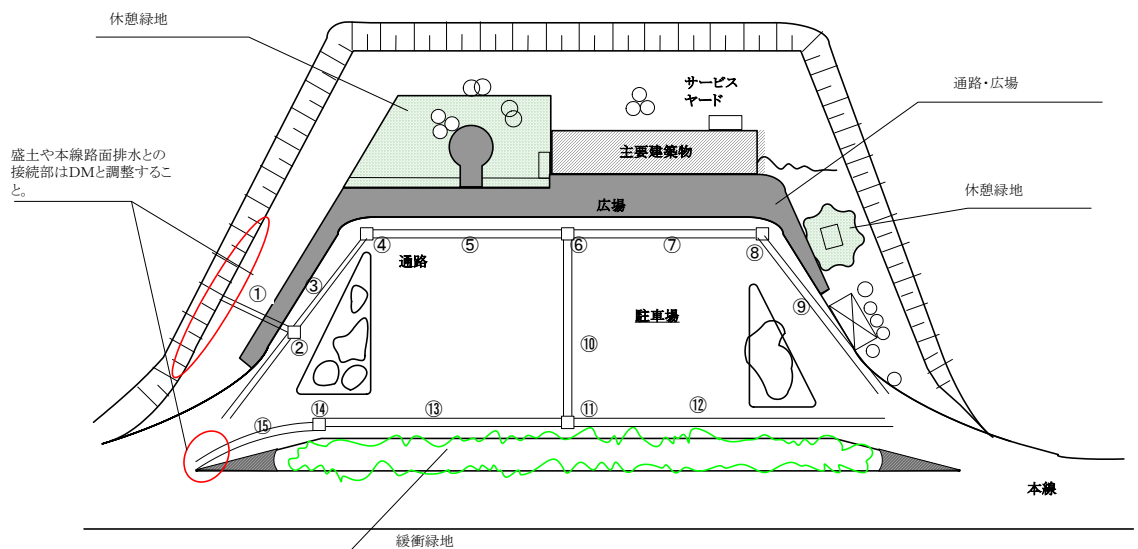
当該排水施設が IC・JCT に存在する場合の IC・JCT 番号をコードから選択し入力する。

(14) 休憩等施設

当該排水施設が SA・PA・BS・CB に存在する場合の休憩施設等番号をコードから選択し入力する。

(15) 排水施設番号

高架橋下排水施設の場合は、高架橋毎にユニーク（重複はしない）となる番号を連番で付与する。付与した番号毎に排水施設データを入力する。また、連絡休憩等施設の場合も連絡休憩等施設毎に同様な番号の付与方法としデータを入力すること。下図に連絡休憩等施設の場合の排水施設番号の付与方法を示すが、基本的には、排水マスにより番号を区切ること。また、盛土、切土や路面との接続部に位置する排水施設に関しては、DM（保全情報管理員）と番号の付与方法について確認すること。なお、排水施設番号を付与した排水施設位置図は、監督員に提出すること。



(16) STA・KP・NO の測点作成方法

同一の用・排水構築物種別が、連続する区間の端部を測点とする。

用・排水構築物種別が、集水ますの場合は（自）（至）に同じ測点を入力する。

ただし、連絡等休憩施設に存在する用・排水施設に関しては、別途、排水施設番号と排水施設位置図により管理すること。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違がありその測点の作成方法について以下に示す。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。加えて、当該路線の KP 換算表を入手し監督員に提出するものとする。

(ア) 建設_STA（自）

当該排水施設の起点側の測点を入力する。

(イ) 建設_STA（至）

当該排水施設の終点側の測点を入力する。

(ウ) 建設_ランプ

当該排水施設が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該排水施設が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該排水施設が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該排水施設の起点側の測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該排水施設の終点側の測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ

当該排水施設が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該排水施設が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該排水施設が存在するランプの終点側の測点を入力する。

- (17) 排水溝種別
当該排水施設番号における排水溝種別をコードから選択し入力する。
- (18) 【削除】
- (19) 記号（契約単価項目名）
該当する排水施設の設計図書に示されている記号を入力する。入力に際し、ふた付きの記号は「^」とする。
記入例) Dc^ (D) -0.50-0.50-0.60 (F)
誤 例) Type A
- (20) 数量
当該排水施設の施工数量を単位に合った数値で入力する。排水溝は延長、集水ますは箇所を入力するものとする。
- (21) 単位
当該排水施設の施工単位（m、箇所）をコードから選択し入力する。
- (22) 補修理由
当該排水施設の補修時のみ、補修理由をコードから選択し入力する。
- (23) 契約番号
当該排水施設を施工した工事の契約番号を入力する。
- (24) 施工年月日
当該排水施設の施工作业が完了した年月日を入力する。

2-6-49 その他道路資産

各工種に該当しない道路資産に関するデータを入力するものである。

(1) 支社局

当該道路資産を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

(2) 事務所

当該道路資産を管理する管理事務所名をコードから選択して入力する。

(3) 道路

当該道路資産が、存在する道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該道路資産が、存在する 1IC 区間の起点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(5) IC (至)

当該道路資産が、存在する 1IC 区間の終点側 IC 名をコードから選択して入力する。

(6) 上下線区分

当該道路資産が、高速道路のどちら側に設置されているかを現在の上下線区分をコードから選択して入力する。

(7) ルート区分

当該道路資産が、存在する現在のルート区分をコードから選択して入力する。

(8) 完成暫定区分

当該道路資産が、存在する道路供用時の完成暫定区分をコードから選択して入力する。

(9) 設置箇所

当該道路資産が、存在する箇所区分（本線、IC、JCT、SA 等）をコードから選択し入力する。

(10) 連絡施設

当該道路資産が IC・JCT に存在する場合、IC・JCT 名をコードから選択して入力する。

(11) 休憩等施設

当該道路資産が SA・PA・BS・CB に存在する場合、休憩施設等の名称をコードから選択して入力する。

(12) 構造物名称

当該道路資産が橋梁・トンネル等に存在する場合、対象の構造物から名称コードを選択して入力する。

(13) STA・KP・NO の測点作成方法

道路資産の測点は、同一分類が連続する区間毎に示すものである。測点は、同一道路資産の種別が連続する区間の端部とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があり、その測点の作成方法について示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_NO についても作成する。

(ア) 建設_STA（自）

当該道路資産の起点側測点を入力する。

KP 変換時に起点側となる方を入力。

(イ) 建設_STA（至）

当該道路資産の終点側測点を入力する。

KP 変換時に終点側となる方を入力。

(ウ) 建設_ランプ名

当該道路資産が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(エ) 建設_NO（自）

当該道路資産がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 建設_NO（至）

当該道路資産がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該道路資産の起点側測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該道路資産の終点側測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該道路資産が存在するランプ名称を A, B, C, D・・・で入力する。

(エ) 管理_NO（自）

当該道路資産がランプに隣接する場合において起点側測点を入力する。

(オ) 管理_NO（至）

当該道路資産がランプに隣接する場合において終点側測点を入力する。

(14) 材質区分

当該道路資産の材質区分（鉄筋コンクリート造、コンクリート造、コンクリートブロック造等）をコードより選択し入力するものである。

(15) 数量

当該道路資産の設置又は補修の数量を入力する。

(16) 単位

当該する数量の単位（箇所、㎡等）をコードから選択し入力する。

(17) 呼び名

当該道路資産の呼び名を入力するものである。

(18) 構造物の概要

当該道路資産がどのような目的で設置され、どのような機能を有しているかを 50 文字以内で入力するものである。

(19) 製品名

当該道路資産の製品名を入力する。

(20) 【削除】

(21) 【削除】

(22) 設置又は補修年月

設置又は補修年月を入力する。

(23) 補修内容

当該道路資産の設置又は補修内容をコードから選択し入力する。

(24) 契約番号

当該道路資産を施工した工事の契約番号を入力する。